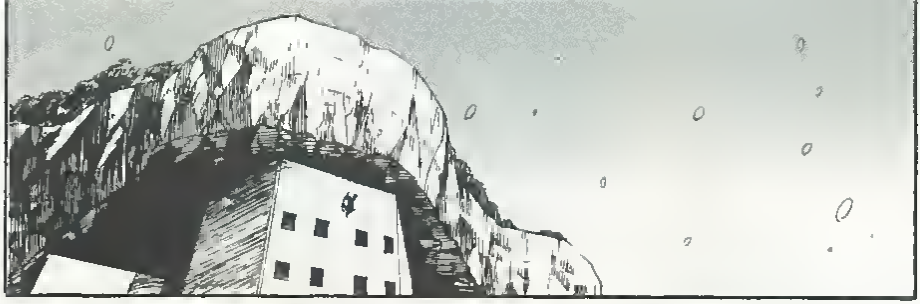
3
アカメが斬る!
Akame ga KILL!
原作 タカヒロ
STORY : TAKAHIRO
作画 田代哲也
COMIC : TASHIRO TETSUYA

JOKERルーレット今日もついてるぜ
JOKER ルーレット
なんせ引き当てたのは――
突撃！
私のおウチは HON屋さん
watashi no ouchi wa honya san
65335冊目：どの世界でも男の子は男の子
おまけコラボマンガ
原作：タカヒロ
作画：田代哲也
スペシャルサンクス：横山知生先生
夢がいっぱい詰まってる中沢書店だ！
中沢書店
ところでラバなんでお前がいる？
俺とココどっちが品揃えが上か
フッ知れたこと
白黒つけてやる！

TAKAHIRO × TASHIRO TETSUYA
AKAME GA KILL! III

CONTENTS

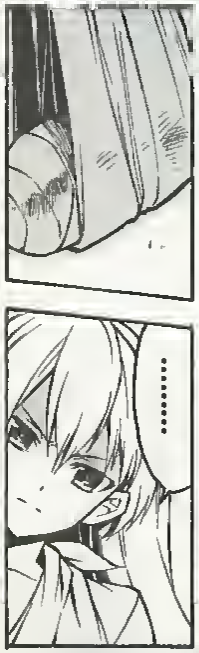
第10話 悲しみを斬る 003
第11話 偽者を斬る 043
第12話 三匹を斬る 081
第13話 エスデス軍を斬る（前編） 123
第14話 エスデス軍を斬る（後編） 159



マイン
一人で食べられるわ邪魔しないでよ

あっ

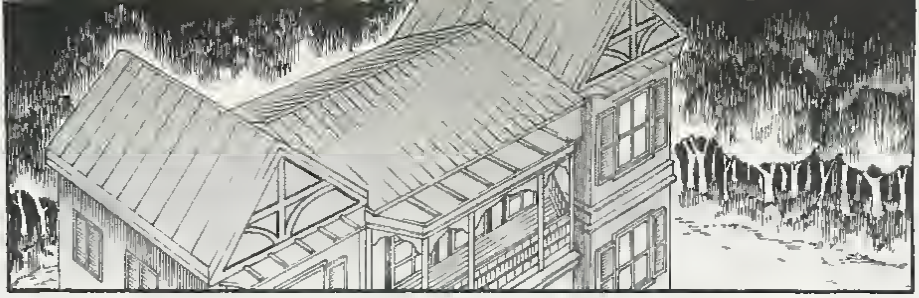
分かったわよ

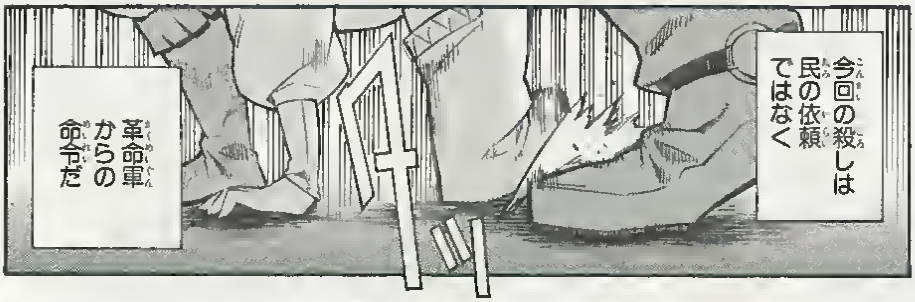

……

冷めてしまう

シェーレがやられたっていうのに
アカメはクールなまんまだな
しかも殺したのは…あの人だったなんて…
…これが辛い稼業だってことか…
心の底から分かってきた…

第10話　悲しみを斬る

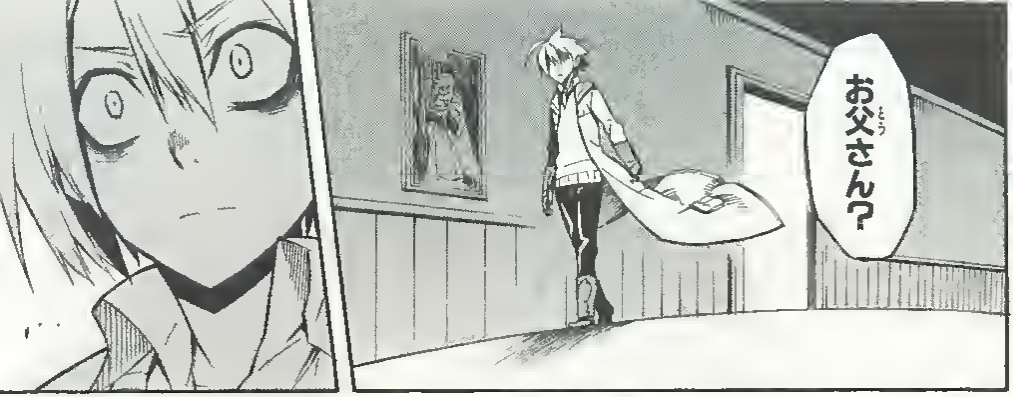


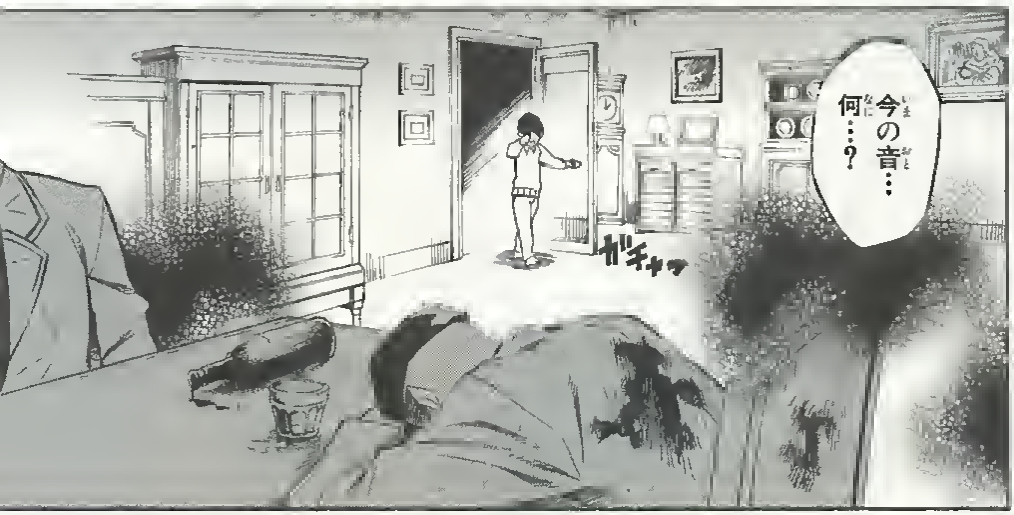

今回の殺しは
民の依頼
ではなく
革命軍
からの
命令だ

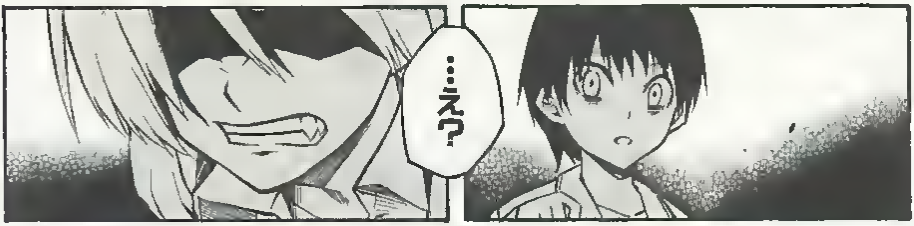
標的は
文官
コボレ兄弟
大臣の手下で
美味い汁を
たっぷり吸ってる
悪党だ

が…
仕事は
優秀だ

少しずつ帝国の力を削いでいくみにも
消せ！


お父さん？


今の音…
何…？
ガチャッ


…え？

お…
お父さん！
お父さーん!!

人を陥れる
悪党のくせに…
子供には
いい父親かよ！

ゴッ
ゴッ
……クソッ

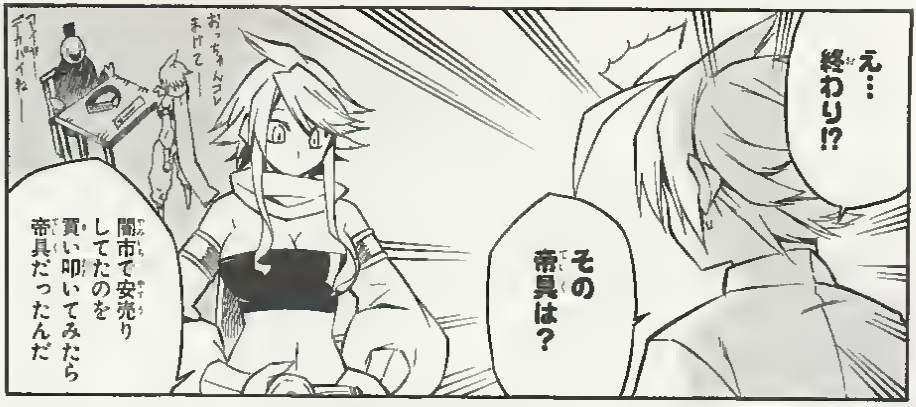
ザァァアア

その汚れは
洗っても一生
落ちないぞ

汚れ…
…か…

フゥ…

むっ
ぎゅ
お前は思ったより優しすぎるなあ
ぎゅ
ぎゅ
おねーさんは心配になってきたぞ～～～
…姐さんは
メンタル強いね
この稼業のきっかけ聞いていい？
気に入らない奴をボコってたらスカウトされたんだ


え…
終わり!?
その
帝具は?
闇市で安売り
してたのを
買い叩いてみたら
帝具だったんだ
おっちゃんコレ
まけて
ハイハイハイね

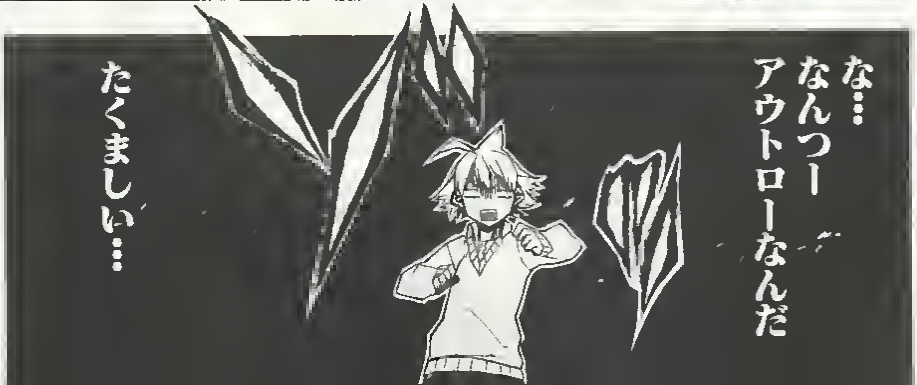
掘り出し物
すぎるだろ!!
波長が合う
奴じゃないと
変身出来ない
みたいだから
気がつかなかった
んだろーな
…それで
なんで
殺しを?

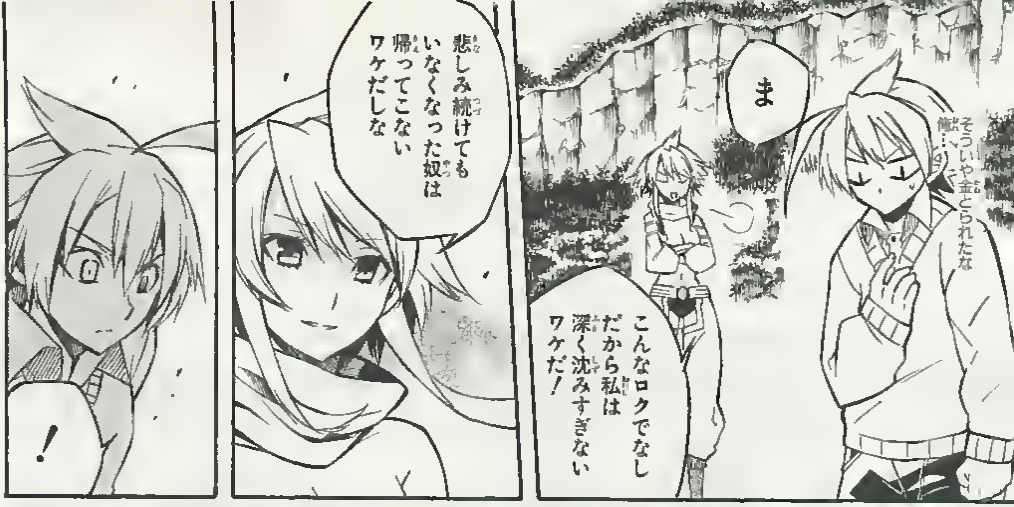
初めは
馬でスラムの
子供を踏み殺す
ゲームをしてた
貴族だったかな…
気に入らなかった
から殺した
…姐さん…

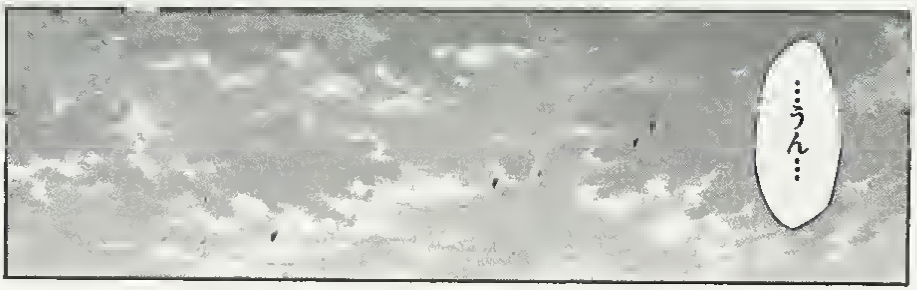
だけど
やめられなく
なってな…
いい気になってる
悪党を
叩き潰すのが

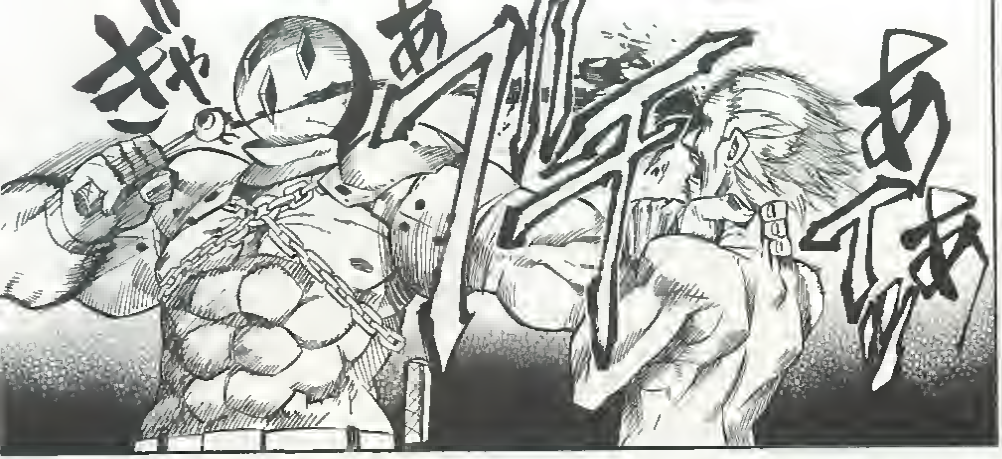
皆がスカッと
する様に
奴の上を行くエグさで
おぞましく
殺してやる

権力の絶頂で
調子に乗ってる
大臣は
最高の獲物だ


な…
なんつー
アウトローなんだ
たくましい…


ま
そういや金とられたな
こんなロクでなし
だから私は
深く沈みすぎない
ワケだ！
悲しみ続けても
いなくなった奴は
帰ってこない
ワケだしな
！

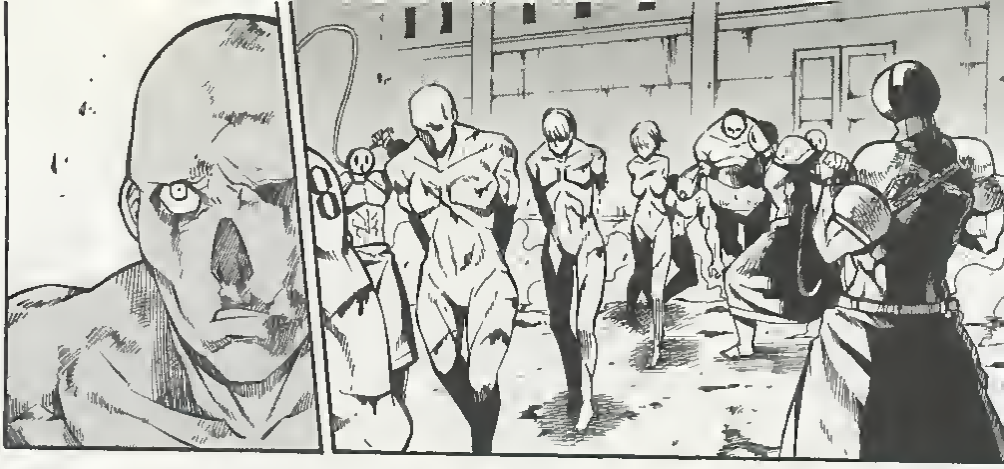

…うん…


ぎゃあ
あああ

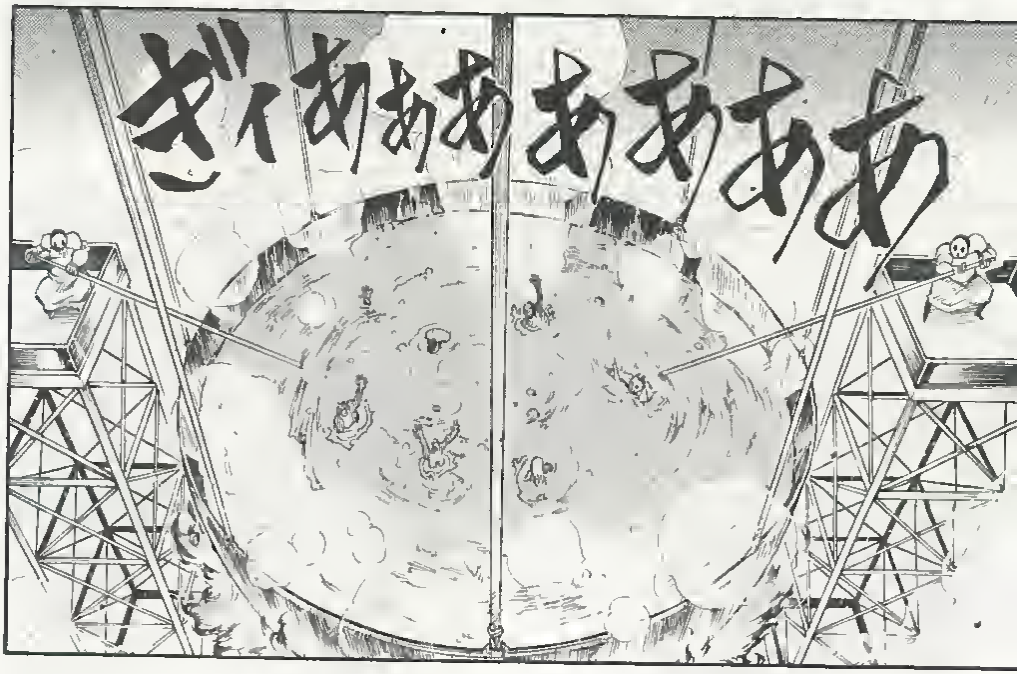
ゴオオオオオオ

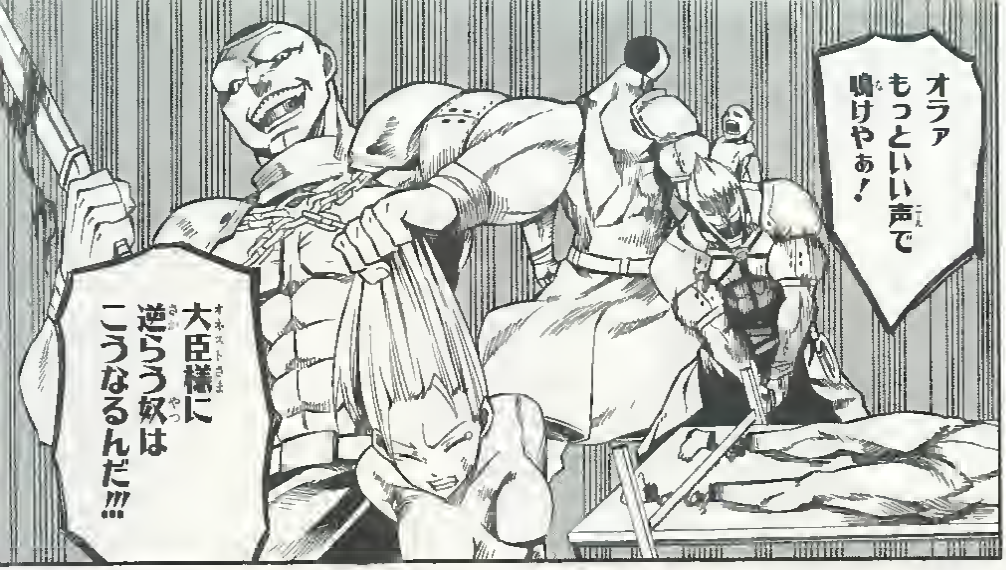
ぎいいいい

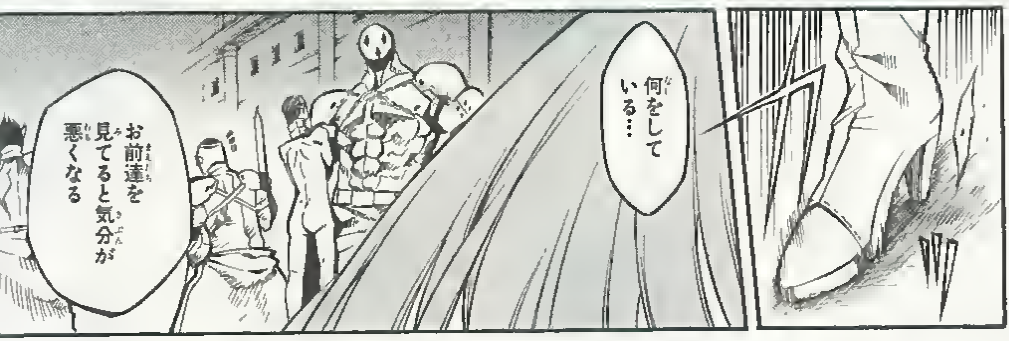
いやああああ

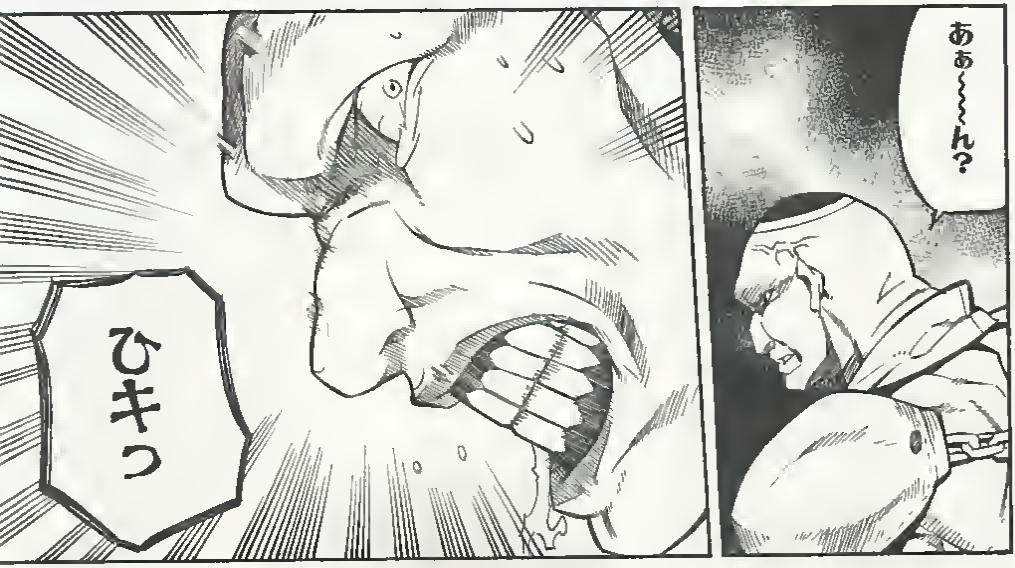


ｶﾞｯ
ｶﾞｯ
ｶﾞｯ
ｶﾞｯ


ぎぃあああああああ


オラァ
もっといい声で
鳴けやぁ！
大臣様に
逆らう奴は
こうなるんだ!!!

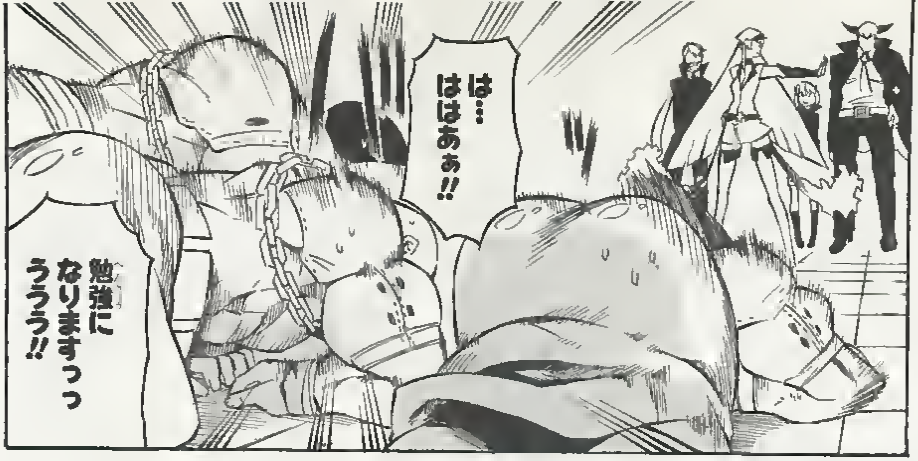

何をしている…
お前達を見てると気分が悪くなる

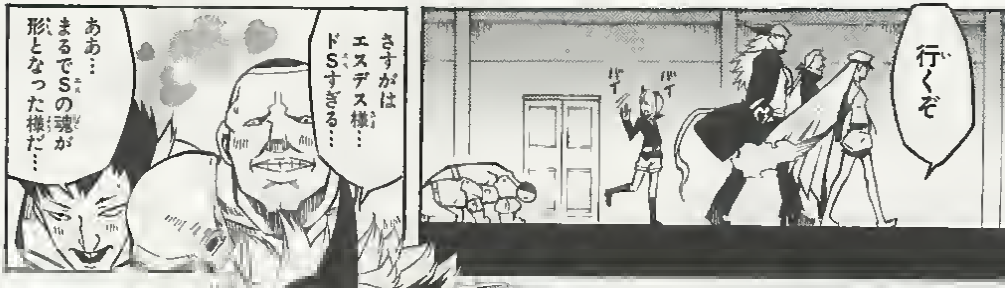

あぁ～～～ん？
ひキっ

え、エエエ…
エスデス様!!!

お戻りになられていたのですね!
は…ははぁーっ!!
拷問が下手すぎる
本当に気分が悪い…
この大釜の温度はなんだ?
すぐに死んでしまうだろう
ピキッ

少し温くした
これ位が一番長く苦しむぞ


は…
ははあぁ!!
勉強に
なりますっっ
うううう!!


行くぞ
さすがは
エスデス様…
ドSすぎる…
ああ…
まるでSの魂が
形となった様だ…

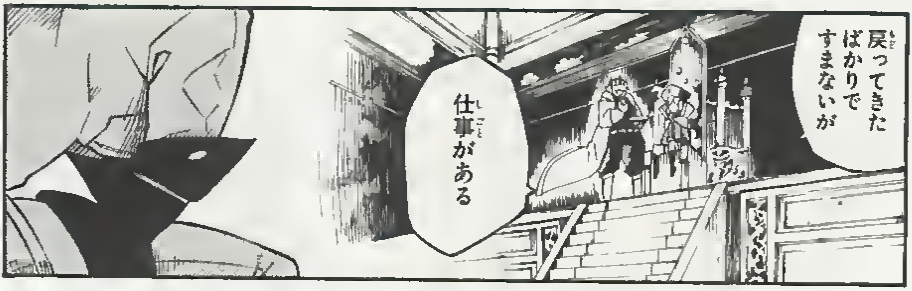
それに今も
エステス様の後ろに
ついていた
〝三獣士〟…

あの方々 異民族の
生き埋めを
嬉々として
実行したらしいぜ
まさに
飢えた獣の軍
だよな…
俺も入隊
してぇ…！
でも訓練が
ドSすぎて
何人も死んだ
らしいぜ…
……

北の制圧！
見事であった
褒美として
黄金一万を
用意してあるぞ

エステス将軍
はっ

ありがとうございます
北に備えとして残して来た兵達に送ります
喜びましょう


戻ってきたばかりですまないが
仕事がある

帝都周辺にナイトレイドをはじめ凶悪な輩がはびこってる
これらを将軍の武力で一掃して欲しいのだ

…分かりました

一つ
お願いが
ございます

うむ…
兵士か？

なるべく多く
用意するぞ

賊の中には
帝具使いが
多いと聞きます

帝具には…

帝具が有効

6人の
帝具使いを
集めてください

兵はそれで十分

帝具使いのみの
治安維持部隊を
結成します

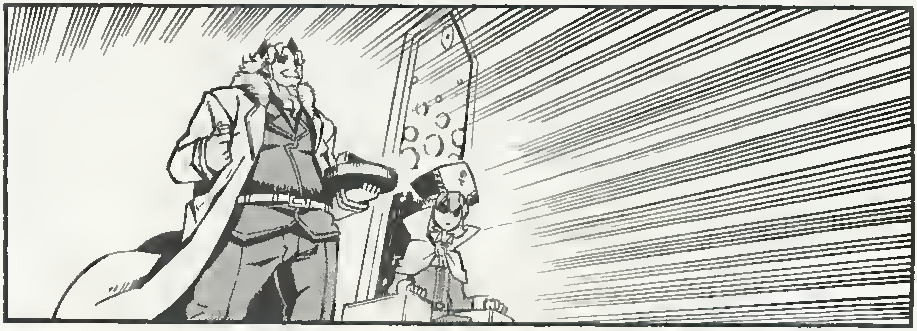
…将軍には三獣士と呼ばれる帝具使いの部下がいたな？
更に6人か？
陛下
エスデス将軍になら安心して力を預けられますぞ

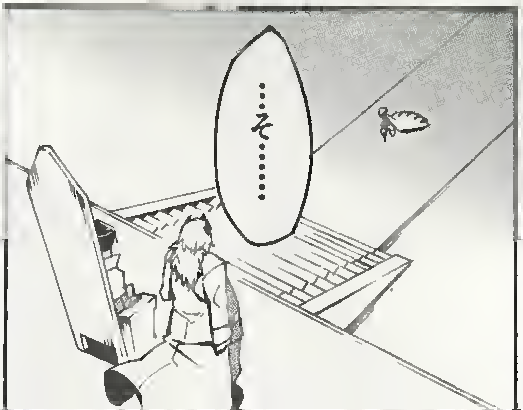
うむ お前がそう言うなら安心だ
用意出来そうか？
もちろんでございます早速手配しましょう

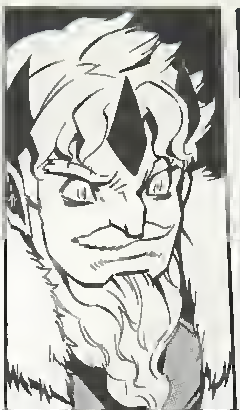
これで帝都も安泰だな余はホッとしたぞ！
まことエスデス将軍は忠臣にございますな

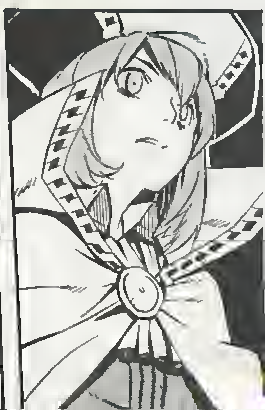
エスデスは
政治や権力に―
全く興味がない
戦いに勝って
蹂躙することが
全て…!
私が国を
牛耳ることで彼女は
欲するままに
暴れられる
利害の一致…
最高の
手札です!!!
苦労をかける
将軍には黄金
だけではなく
別の褒美も
与えたいな
何か望むものは
あるか…?
爵位とか
領地とか
そうですね…
…あえて
言えば…
言えば…?

恋を
したいと
思って
おります



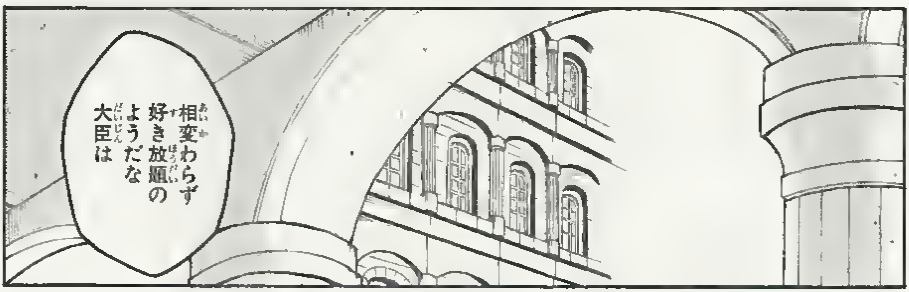

……そ……



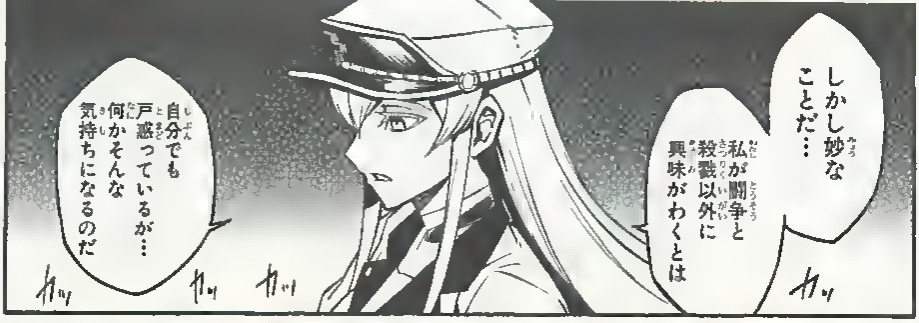


そうであったか！
ポニ
将軍も年頃なのに独り身だしな
しかし将軍は慕ってる者が周囲に山程おりましょう？
あれはペット・ですよ
……では誰か紹介しよう
この大臣などはどうだ？いい男だぞ！
ちょ…陛下!!
お宮業ですが
大臣殿は高血圧で明日をも知れぬ命
もぐ
もぐ
これで健康です失礼な
では
もぐ
もぐ
どういうのが好みなのですか将軍は？
…ここに

私の好みを書き連ねた紙があります
パラッ
該当者がいれば教えてください
分かった
見ておこう

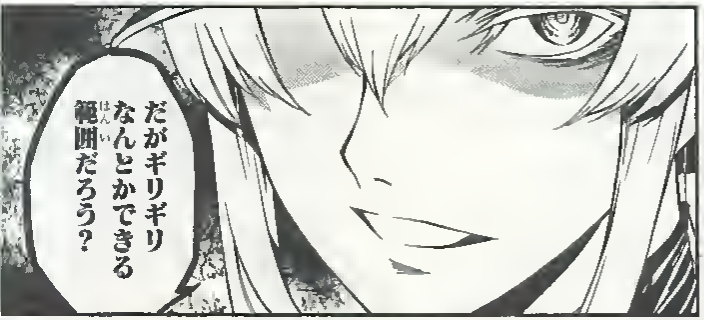

相変わらず好き放題のようだな大臣は

はい 気に食わないから殺す
己の欲するままに生きることのなんと痛快なことか
フフフフ
…本当に病気になるなよ
食べたいから最高の肉を頂く


しかし妙なことだ…
私が闘争と殺戮以外に興味がわくとは
自分でも戸惑っているが…何かそんな気持ちになるのだ

あぁ
生物として異性を欲するは至極当然のことでしょう
その気になるのが遅すぎるぐらいですよ
恋という言葉は全然似合ってませんが

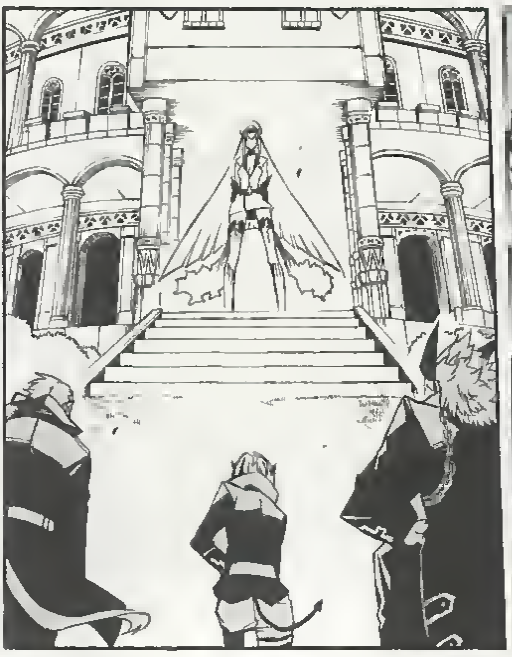
帝具使い6人は要求がドSすぎます

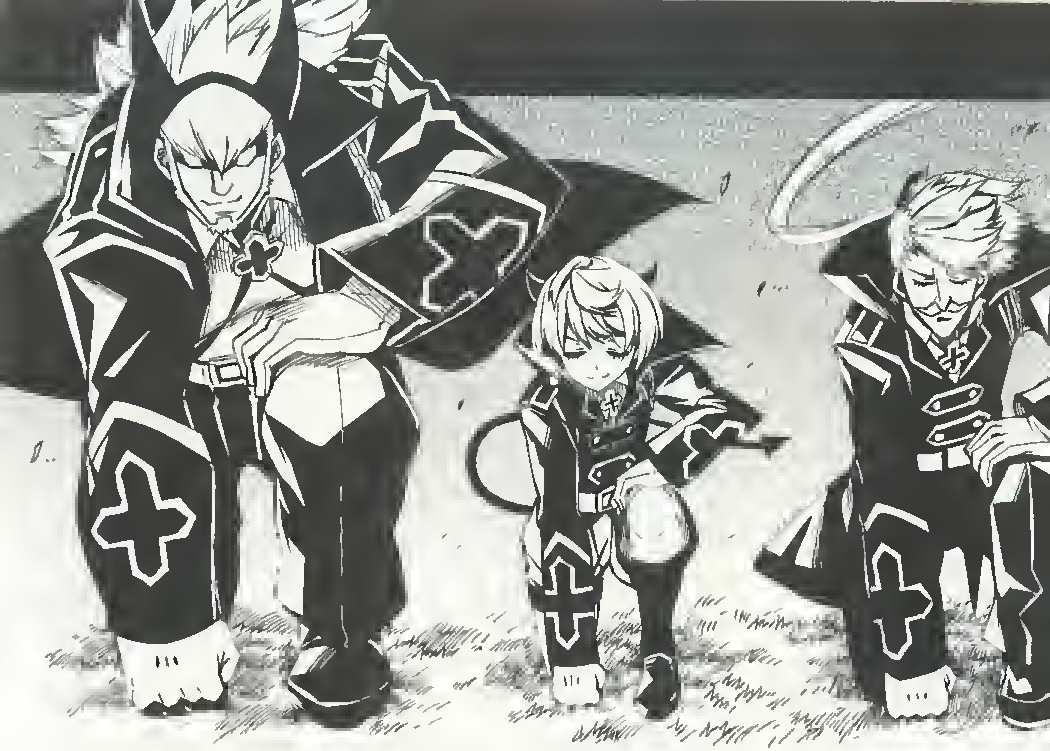

だがギリギリなんとかできる範囲だろう?

なるほど…これも獣の本能か
まぁ今は賊狩りを楽しむとしよう
それですが

構えるかわり…
といっては
なんですが私…
いなくなって欲しい
人達がいるん
ですよねぇ…
フ…
悪巧みか

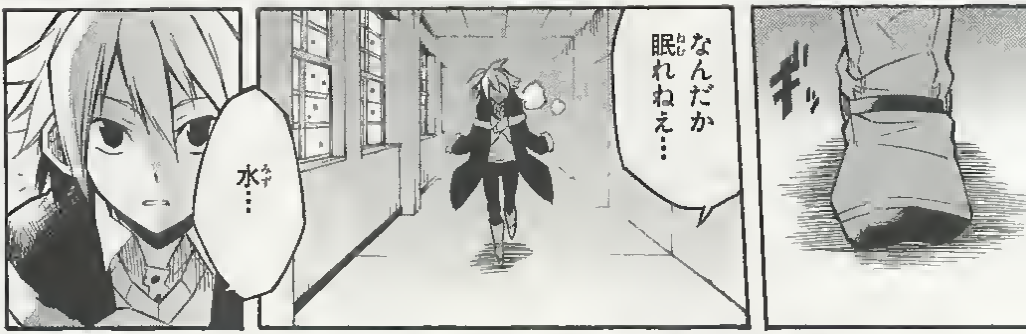
お前達に
新しい
命令をやろう
今までと趣向が
ちと異なる
が…



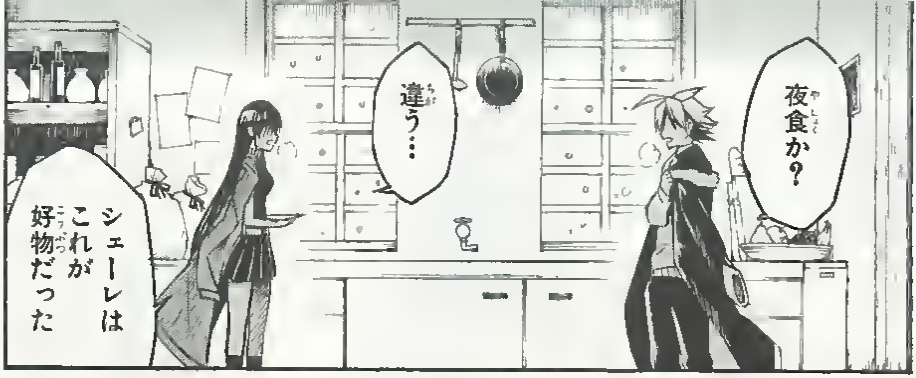


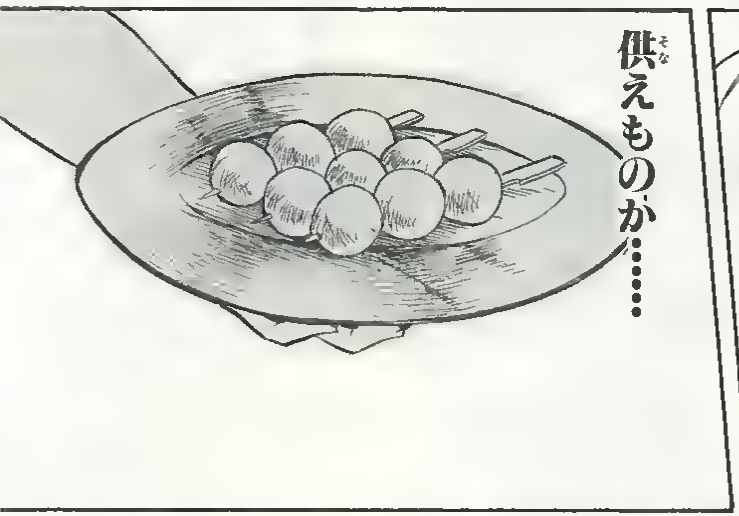
なんなりとお申しつけください
エステス様
僕達3人はエステス様の忠実なる僕
いかなる時いかなる命令にも従います

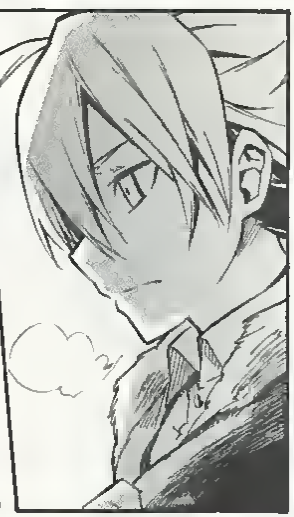
よし


ギッ
なんだか眠れねえ…
水…

…アカメ?


夜食か？
違う…
シェーレは
これが
好物だった

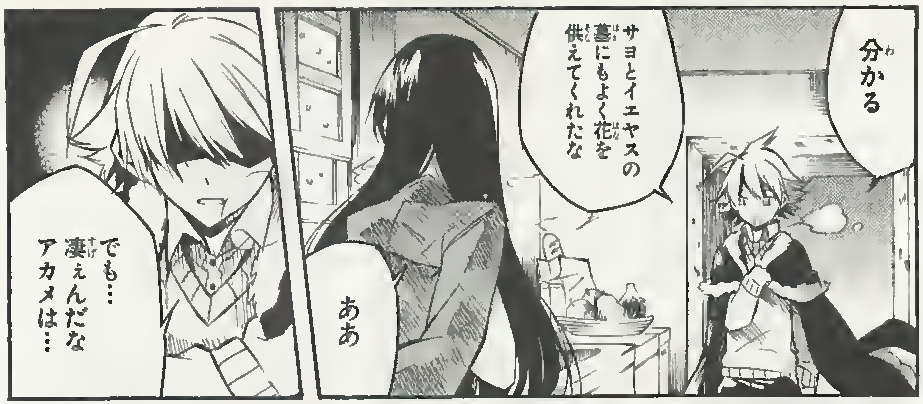

供えものか……

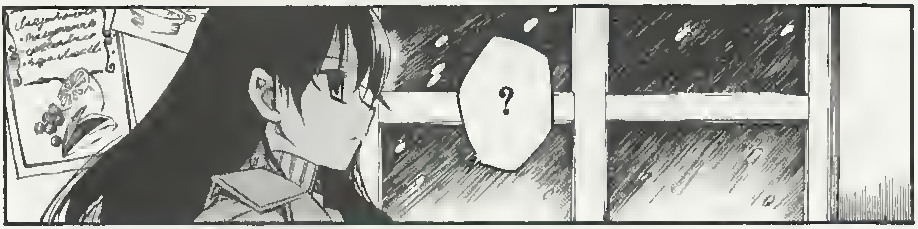


…私達は
裏の仕事だ…
シェーレの名は
革命軍の記録にすら
残らないだろう

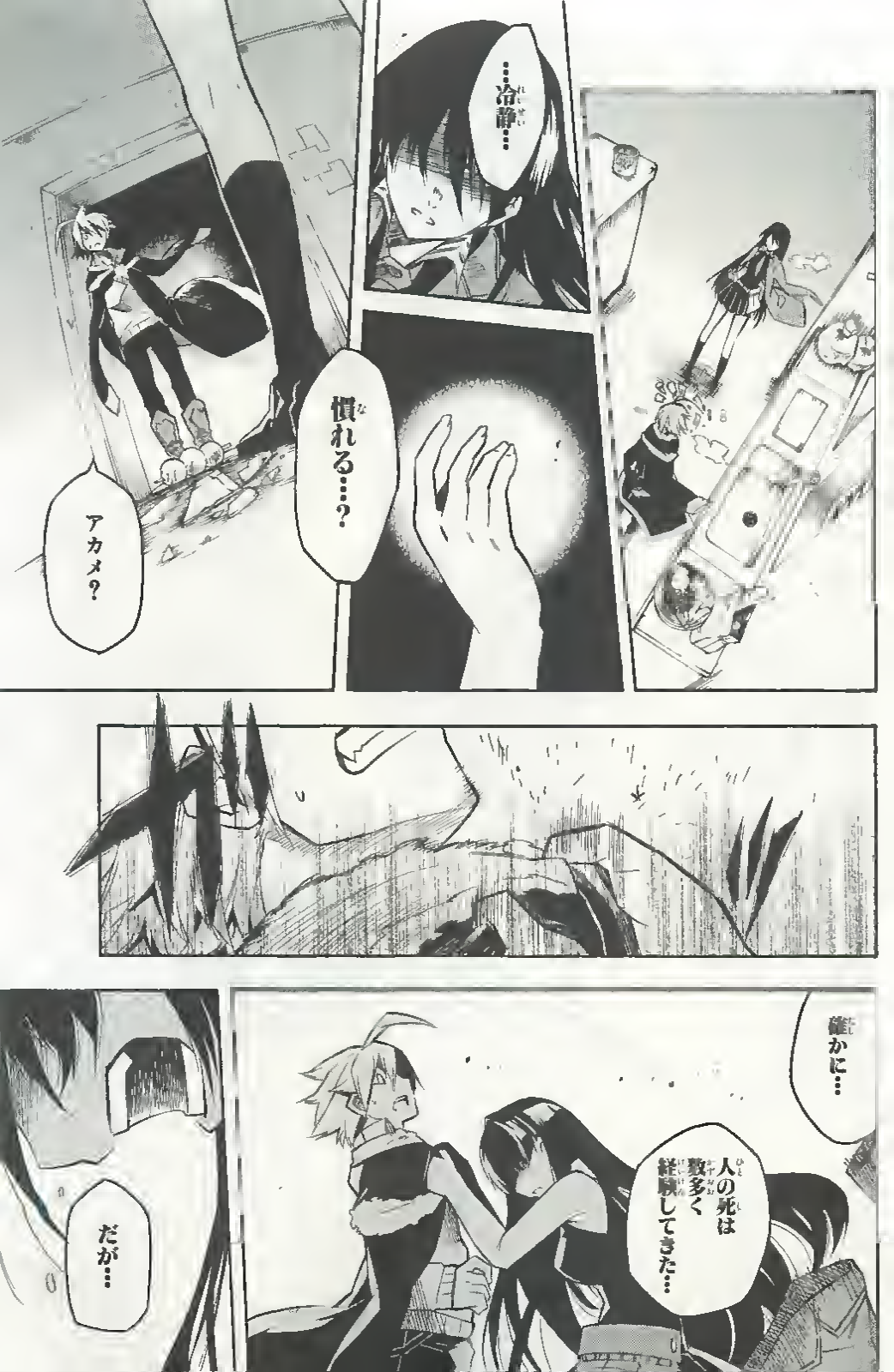
だから私は
誰よりも
彼女のことを
憶えておくんだ

とぼけた
ところも
多かったが
メンバーの中では
誰よりも
優しかった


分かる
サヨとイエヤスの墓にもよく花を供えてくれたな
ああ
でも…凄ぇんだなアカメは…

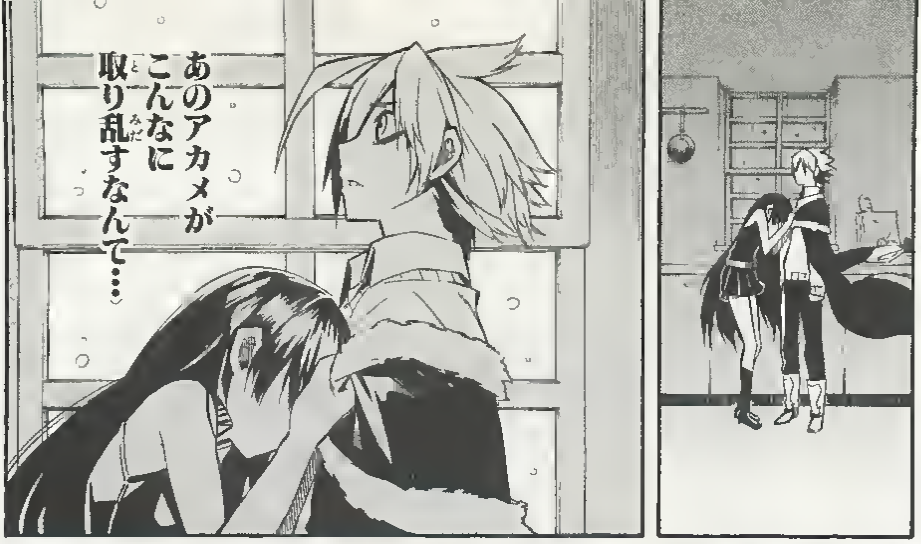

？

仲間の死に対しても冷静だし
慣れてるよな…
俺なんかまだ…


…冷静…
慣れる…？
アカメ？
確かに…
人の死は
数多く
経験してきた…
だが…

大切な仲間がいなくなった!!!
こんな苦しみ慣れる訳ないだろうが!!

だが
今のままでは
次の任務にも
影響する！
だから私は
平然と
振る舞って
いたんだ!!
軍の仕事を
しているんだ！
こういう切り替えが
出来なくて
どうする…!!!
そ…
わ 私だって…
レェーレが
いなくなって
どんなに…
それを冷静だと…
どんなに…！


あのアカメが
こんなに
取り乱すなんて…

そうだよな…
俺の初任務の時も
心配して
くれたし

何やってんだ俺!

いじけてて
どうするよ！
姉さんの言う様に
暗くなったって
シェーレが帰って来る
訳じゃねぇんだ
男らしく
前を
向かないと！
!?
おぶっ…！

それに汚れ仕事だけど金は金
革命までの間飢えを凌げる…
俺には
幸せになって貰いたい人達がいるんだ…!!
な…なんだ!?
今のはスイッチの切り替えだ
気にしないでくれ
大丈夫かタツミ!?
それより
グッ
悪かったアカメ無神経だったぜ
改めて約束する

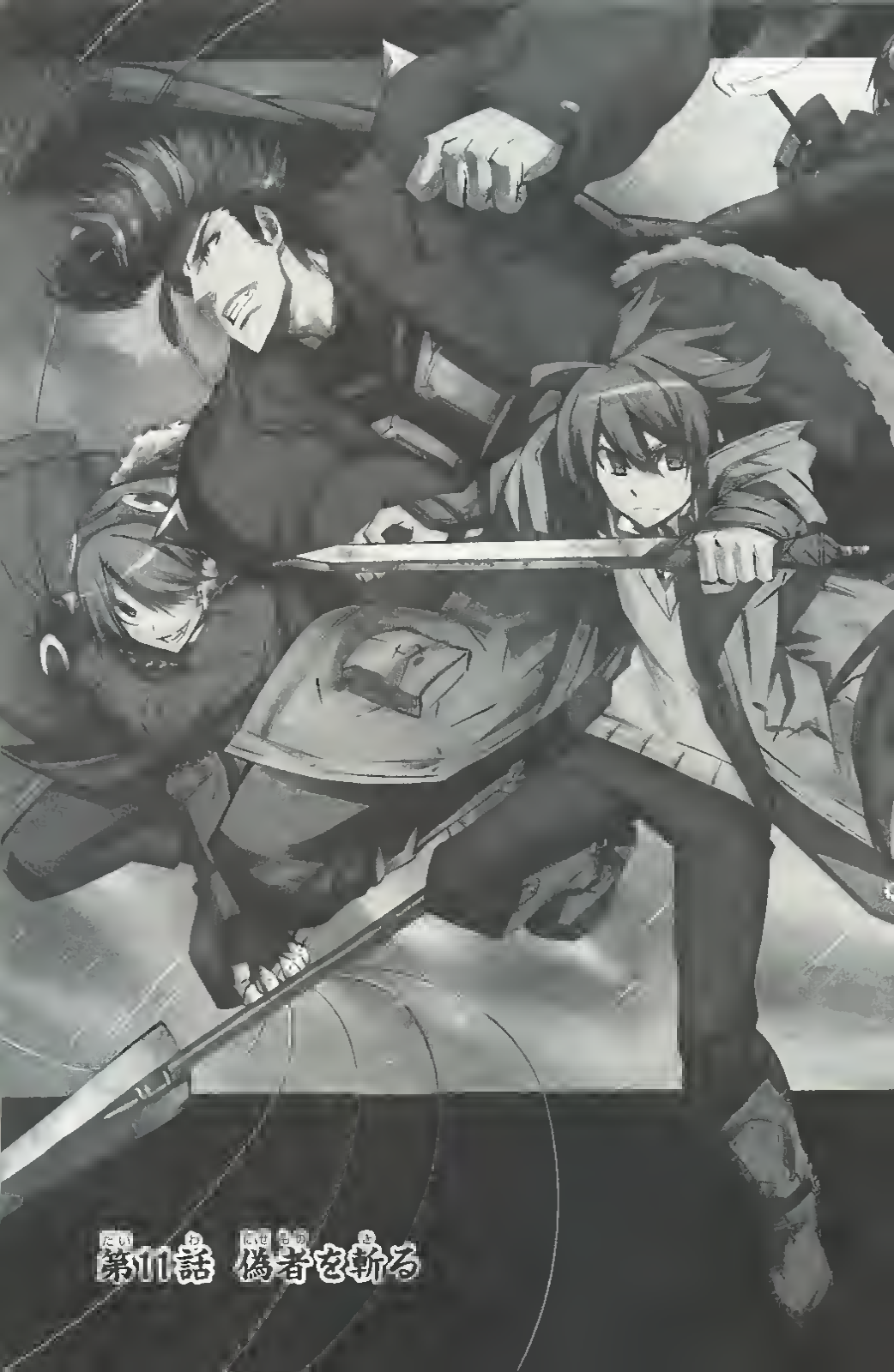
俺は
死なねぇから!!
お前を悲しませたり
しねぇから!!

タツミ…

新しい国を…
皆の笑顔を
見てみようぜ

ああ
そうだな

第11話 偽者を斬る
うわっ！
凄え量！
俺の帝都での身分は貸HON屋だからな
特別にタダで貸してやる
マジで!?サンキュー!!
…ラバ
乳遣いありがとな
俺は大丈夫
シェーレのことは切り替えてるぜ
…そか
これだけ貸してくれ
お前も好きだねぇ

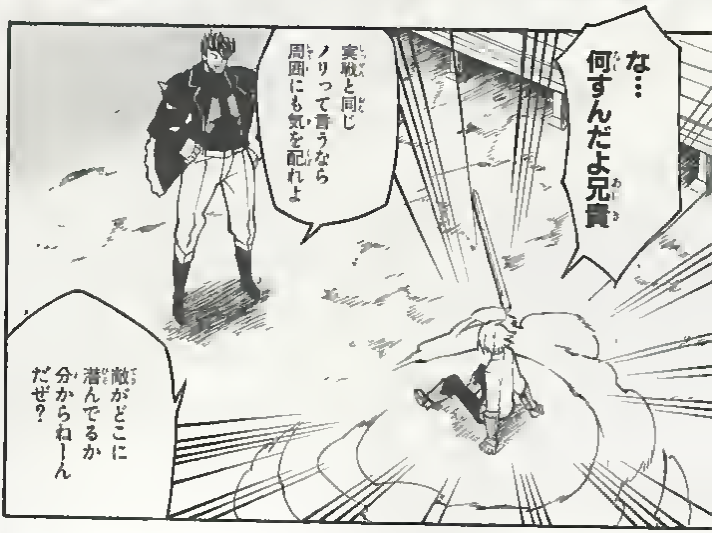


第11話 偽者を斬る

訓練所
だりゃあああああああ!!
ガン
ガン

ヤ
ハ
キッ
おふっ
…も
もう一回だ
アカメ！
……
少し休んだ方が
いいんじゃ
ないのか？
休憩なんて
出来るかよ
言ったろ？
実戦と同じ
ノリで
来てくれって

行くぜぇ
えええ!!
うがっ!?

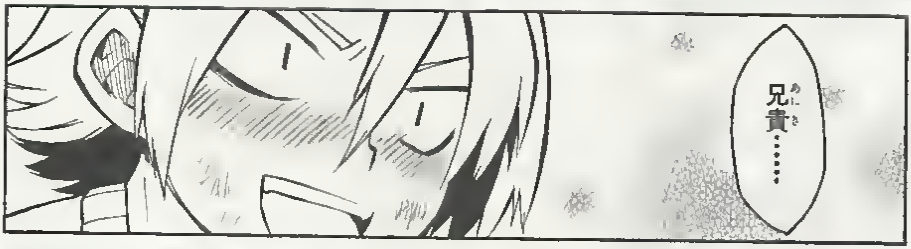

な…
何すんだよ兄貴
実戦と同じ
ノリって言うなら
周囲にも気を配れよ
敵がどこに
潜んでるか
分からねーん
だぜ?

クッ

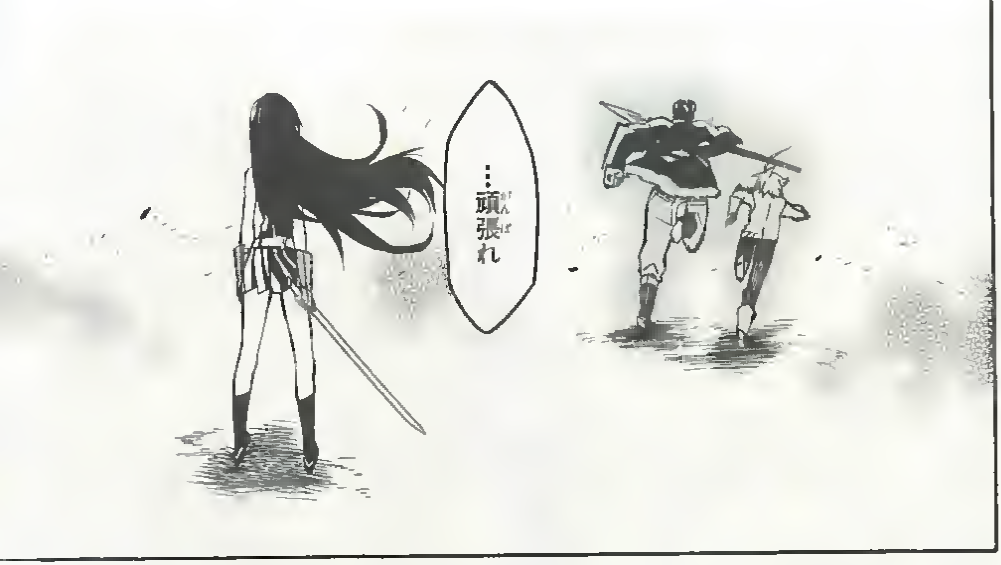
いつも以上に
気合入ってるな
どうした?

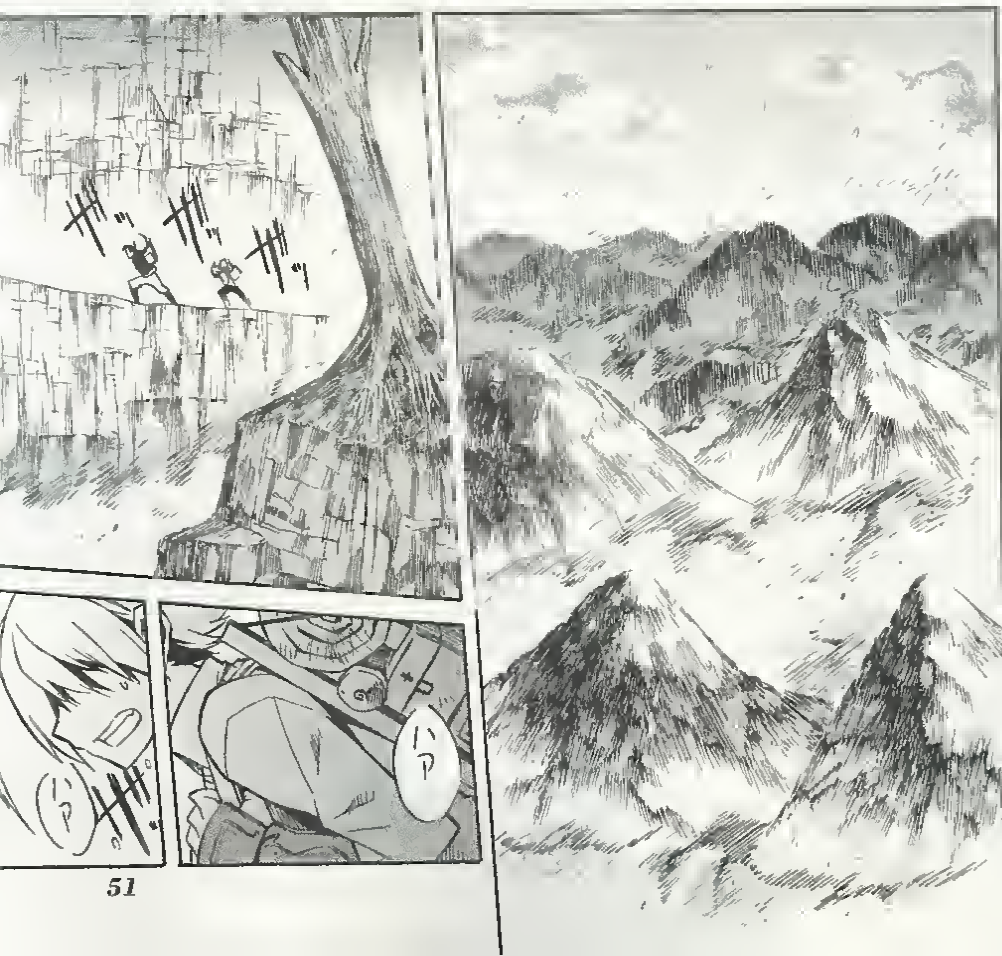
……
別に…
早くレベルアップしたいだけさ
アカメと約束したんだ…
俺は絶対生き残るってな！
タツミ…
フッ
いい顔する様になったじゃねえか!!
成長したな!!

より強くなりたいなら俺と組みな！
しっかり鍛えてやるぜ!!


兄貴……

ってことで早速レッスンだ
ガチャ
俺について来い!!
お…おう兄貴!!


…頑張れ


ハア
ハア

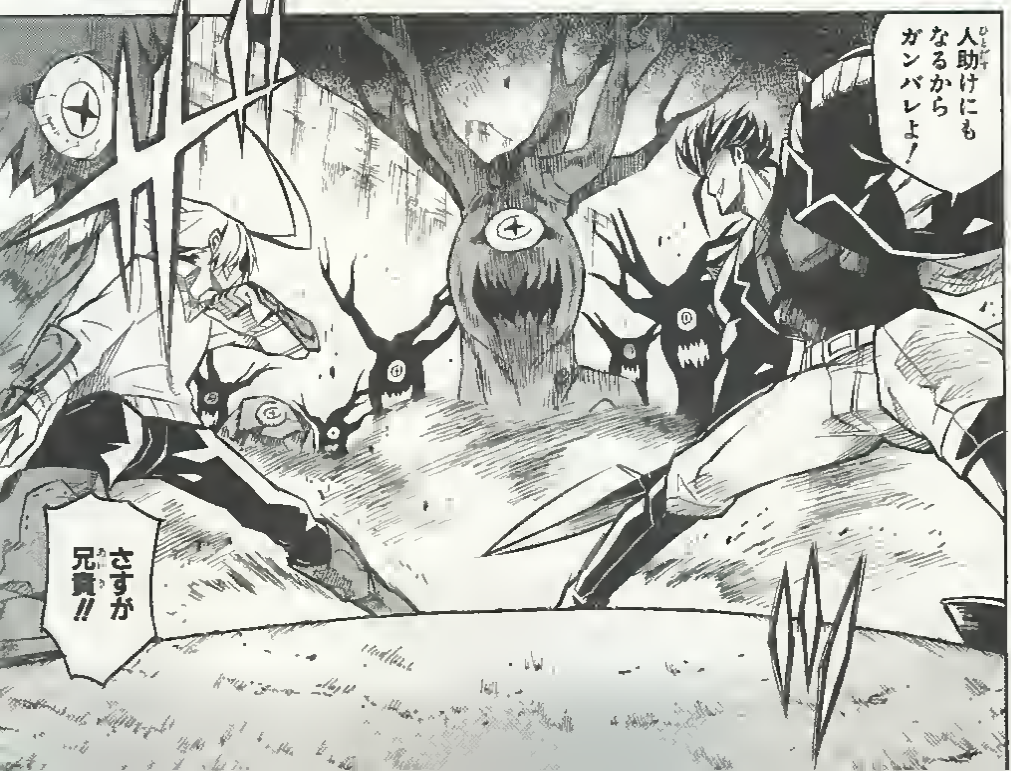
ここまで奥に来たのは初めてだな
…つか霧が出てきたぞ
ここら一帯はフェイクマウンテン
帝都近くでは一番危険な場所だ
へぇー！

い…!?
うわぁ!!

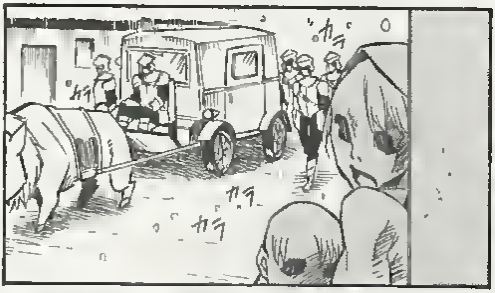
木獣だな
油断すんなよ
喰われちまうぜ？

ってなワケで
疑態が得意な
危険種がワラワラ
いる場所だ
お前はここで
戦闘における
観察眼を養いな！
熱いだけじゃ
生き残れないぜ？

おう！
食える獣は
近くの村に
分けてやろう

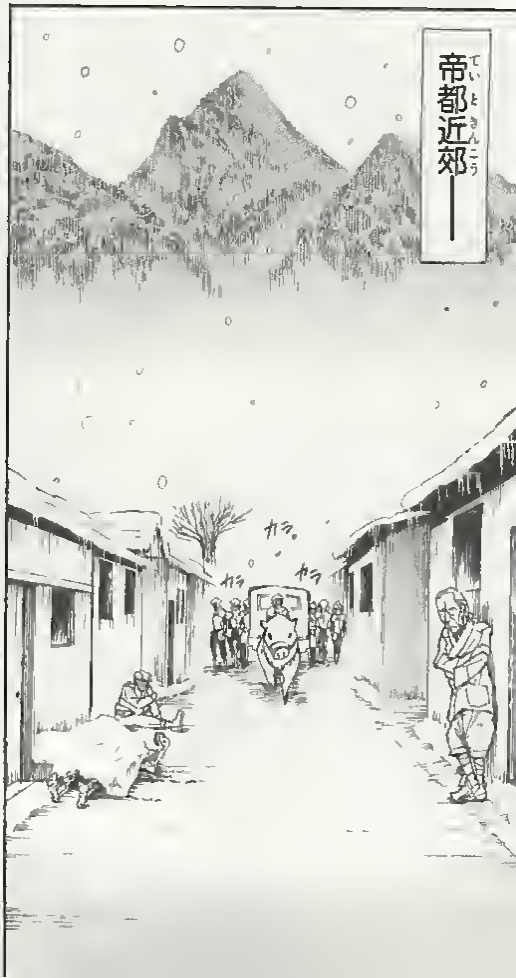

人助けにも
なるから
ガンバレよ！
さすが
兄貴!!

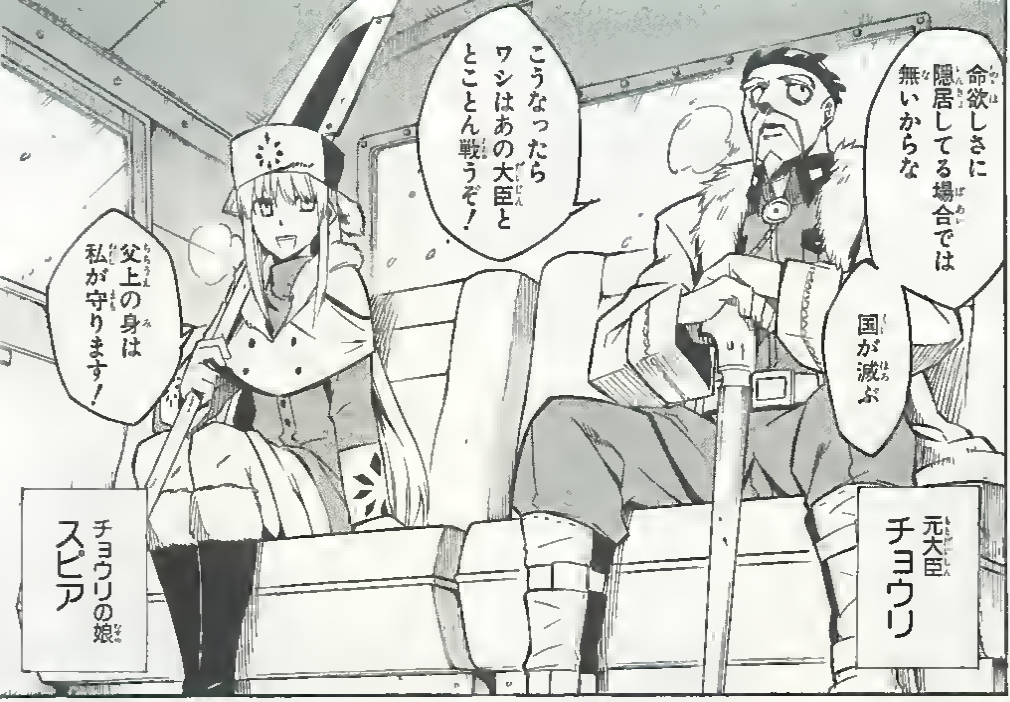
傷ついたら俺がベースキャンプで手厚く介抱してやるからな！
なんでそこで顔が赤くなるんだよ!!



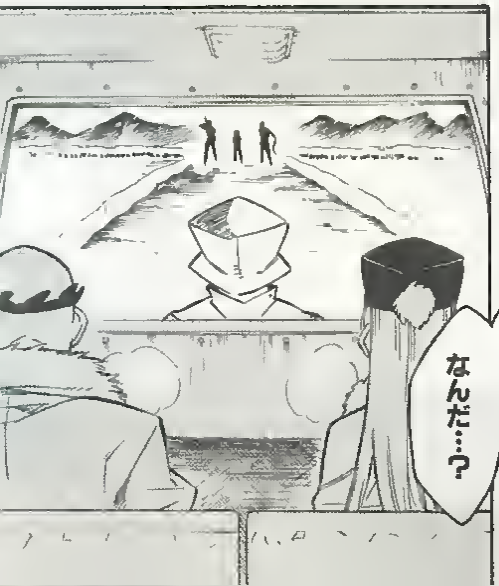
この村もまたひどいな…
民あっての国だと言うのに

そんな民を軽い
毒蛇の巣である帝都へ戻る父上は立派だと思います

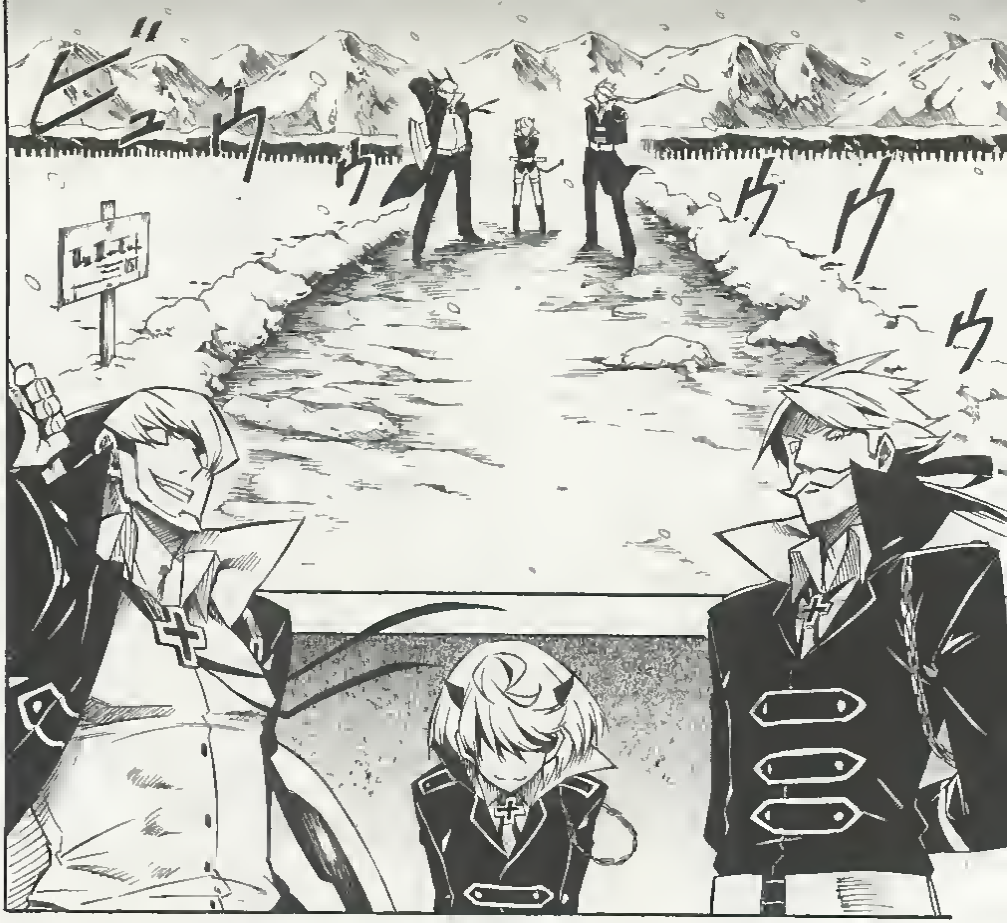

帝都近郊——


命欲しさに隠居してる場合では無いからな
国が滅ぶ
こうなったらワシはあの大臣ととことん戦うぞ！
父上の身は私が守ります！
元大臣
チョウリ
チョウリの娘
スピア

いい娘に育ったのう
勇ましすぎて嫁の貰い手がないのが玉に瑕か…
そ
それは今関係ないでしょう！


！
なんだ…？

…すまん

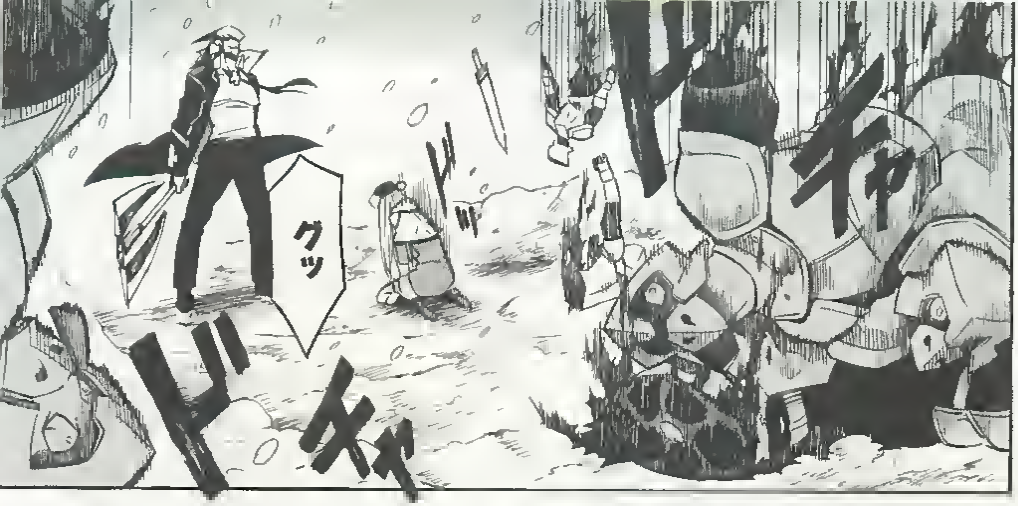

ビュウウウ

…また盗賊か!?
治安の乱れにも程がある!

今までと同じように蹴散らす!

油断するな!

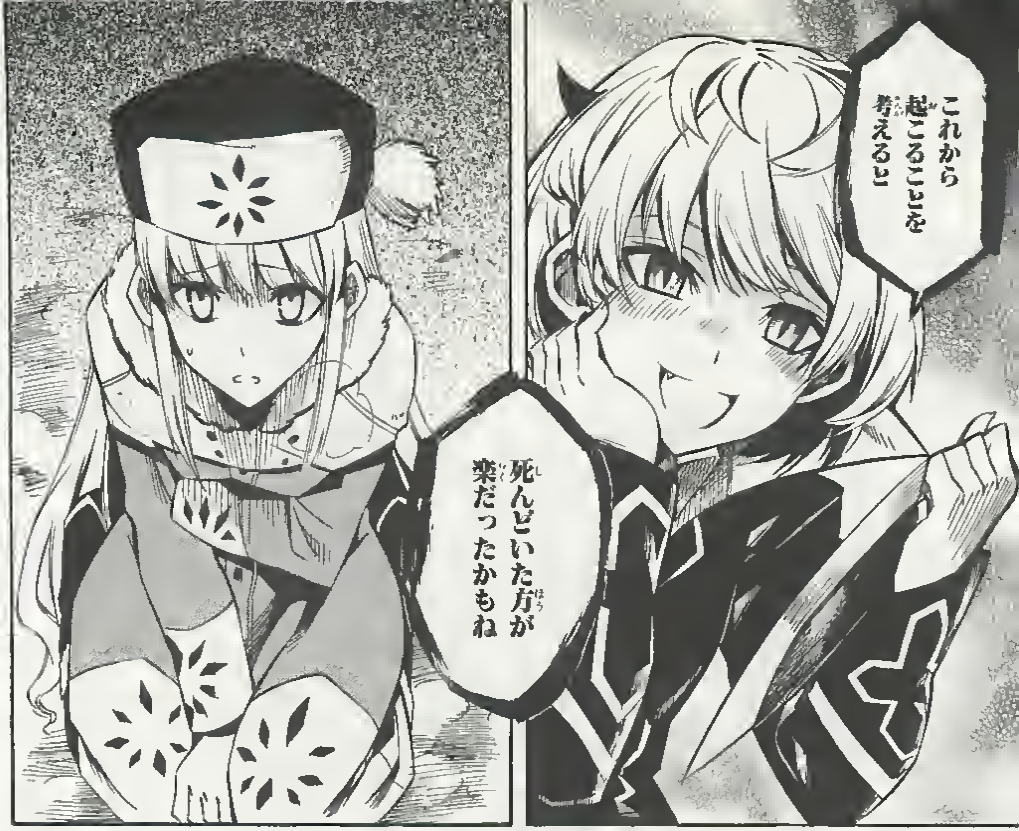
ダイダラ
ズィッ
おう
行くぞっ!!
帝具
二挺大斧
ベルヴァーク


ドチャ
グッ
ドチャ

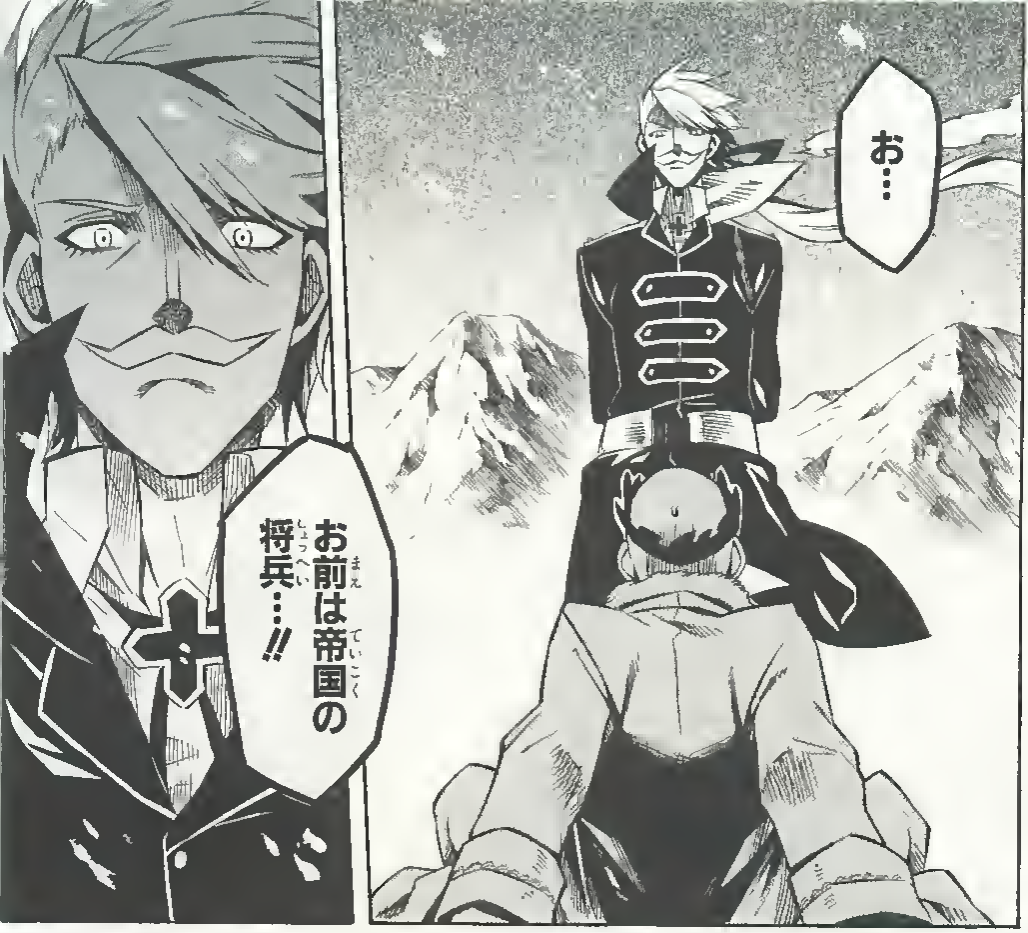
う……強すぎる……
私の槍術が……

でも

へぇ…お姉ちゃんやるねぇ
ダイダラの攻撃で死なないなんて


これから起こることを考えるﾋﾆ
死んどいた方が楽だったかもね

ドサ
ハッカアッ!!
!


お…
お前は帝国の将兵…!!

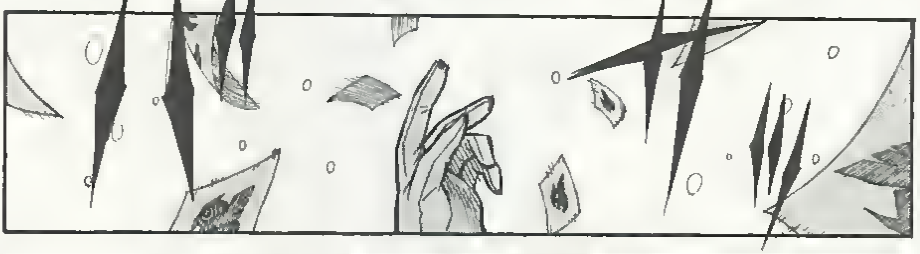
はい
貴方の政治手腕は尊敬しておりました

な…
ならば なぜ私を狙う!!!

主の命令は

何をおいても
絶対ですので

倒したのは15人ってとこか！
よーしこの経験値が俺をさらなる強みへと導くぜ！
ビラをまくぞ！
手伝えダイダラ！



大臣も面倒くさい手使うよな…
政敵排除はいつもみたく罪を着せろよ
ブドー大将軍の庇護下にいる文官にその手は通じんよ

あーそっかそれで俺達の出番か！
…前の現場でも説明しただろうが

ねぇねぇ！リヴァ見て見て!!

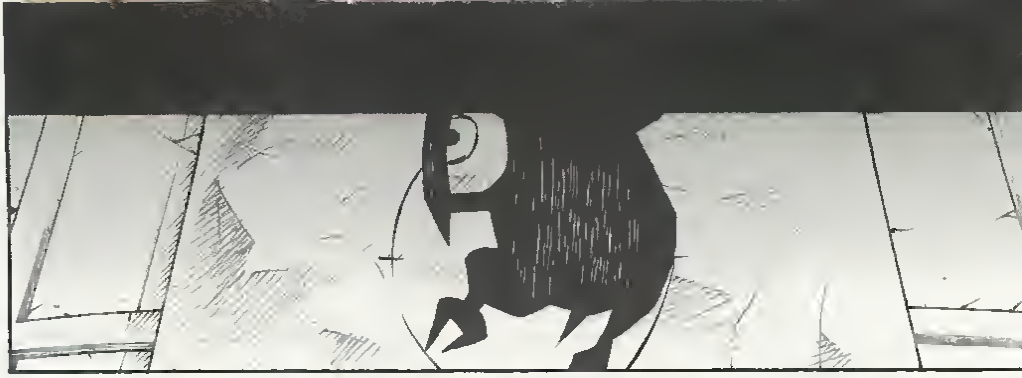
じゃーん!!
コレクションが増えたよ!!

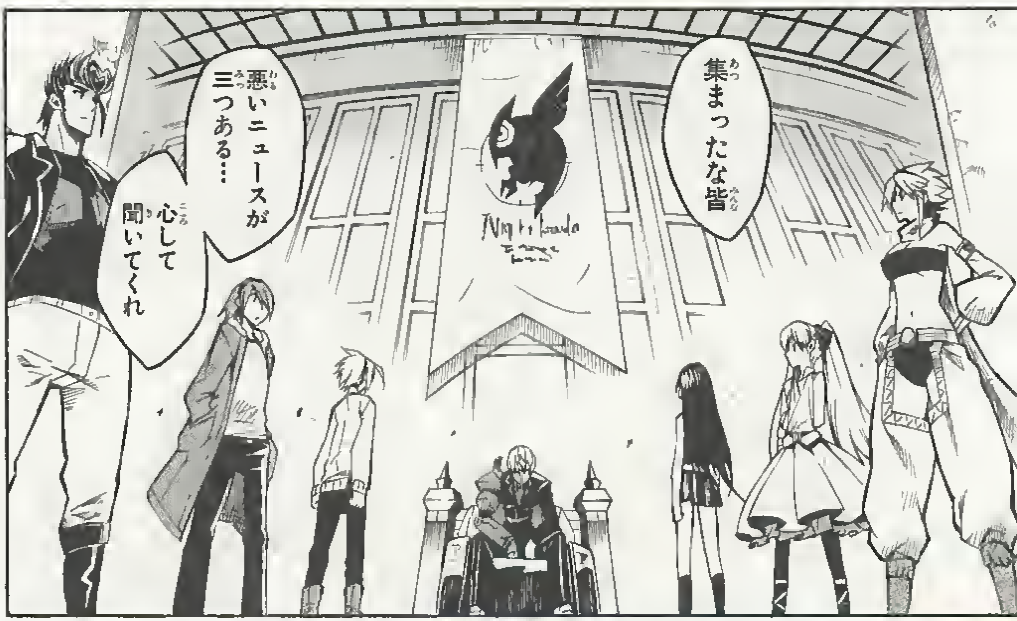
……
相変わらず悪趣味だなニャウ
ちゃんとトドメは刺してきたんだろうな

あはは
剝いでる途中でショック死しちゃったよ
よし
帰還するぞ
作戦成功を祝い料理を作ってやる!

Night Raid

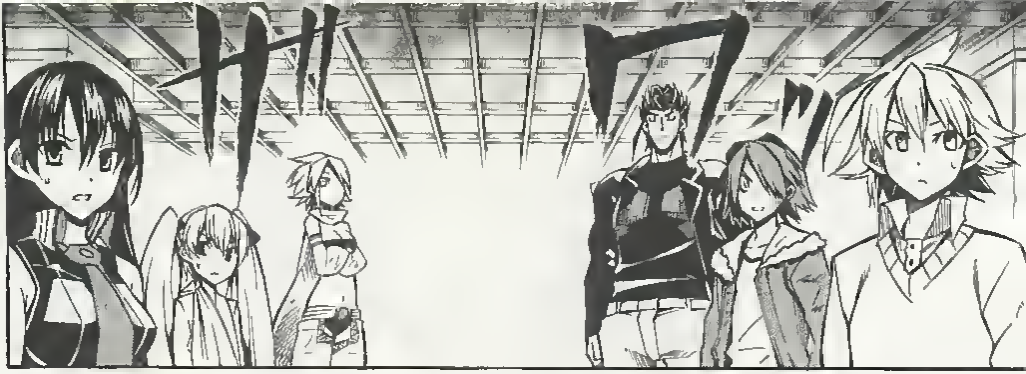
(ナイトレイドによる天誅)

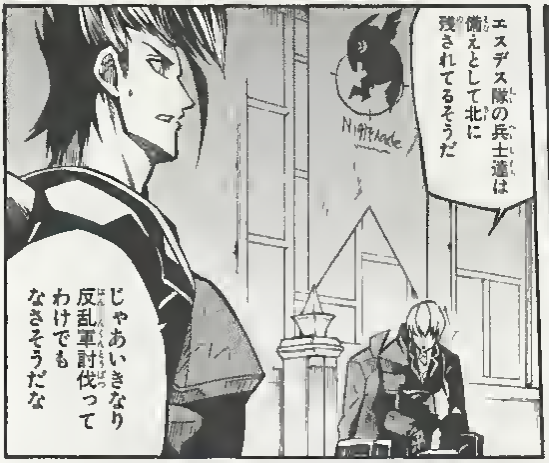



集まったな皆
悪いニュースが三つある…
心して聞いてくれ

一つ
地方のチームと遠征が取れなくなった
!?

？
地方のチーム？
帝国は広い
私達が帝都専門の分地方で仕事をする殺し屋チームがあるんだ
今調査中だが全滅の可能性もある
そう覚悟してくれ…
とりあえずアジトの警戒をより強める必要があるね
ああ結界の範囲を拡げてくれ
そして二つ目
エスデスが北を制圧し
帝都へ戻ってきた




エスデス隊の兵士道は
備えとして北に
残されてるそうだ
じゃあいきなり
反乱軍討伐って
わけでもなさそうだな

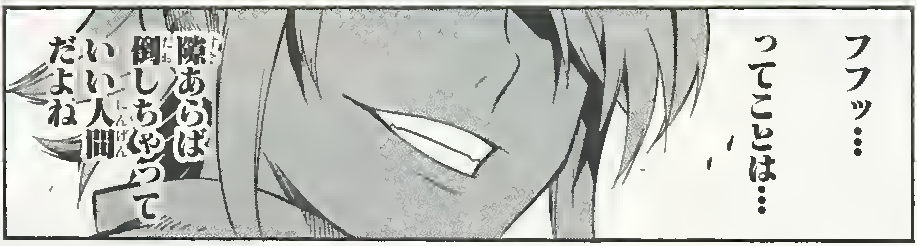
アイツは
いつだって
悩みの種だよ！

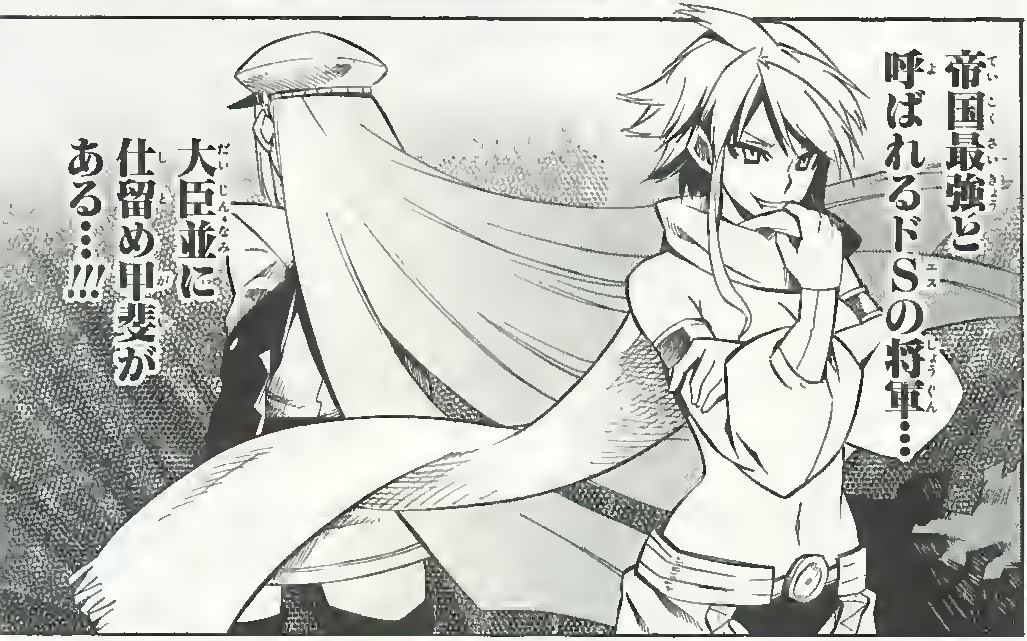
予想を大幅に
上回る
遠度だったな

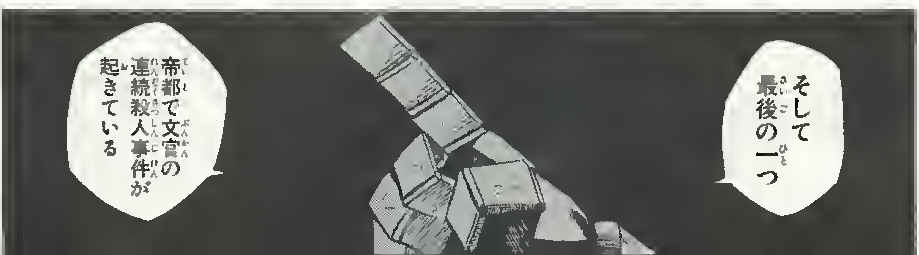
レオーネ
お前も
帝都へ行き
エスデスの動向を
探ってきてくれ
了解っ!!

次にあいつが
どう動くか
まだ読めん
今は日夜
拷問官に真の拷問
というのを叩き込んで
いるらしい

どんな奴か
興味もったんだ
殺戮を繰り返す
危険人物だぞ
用心しろ
オーライ
オーライ


フフッ…
ってことは…
障あらば
倒しちゃって
いい人間
だよね


帝国最強と
呼ばれるドSの将軍…
大臣並に
仕留め甲斐が
ある…!!!


そして
最後の一つ
帝都で文官の
連続殺人事件が
起きている

被害者は
文官4名と
その警護の
人間61名

問題は
殺害現場に
「ナイトレイド」と
書かれたこの紙が
残ってること

分かりやすい
偽者だな…
俺達に罪を
押しつける気か
でもさ
普通
バレるだろ
いきなり
犯行声明なんて
ワザとらしい
初めの1、2件は
そう思われていた
が…

今は私達の仕業と
断定されそうだ
なんで?
事件が起きる毎に
警備が厳重になるが
それでも殺されて
いるんだ
4件目の元大臣
チョウリは腕利きの
護衛30名近くが
殺されている
狼なんて皇拳寺で
皆伝の達人だぞ

こんなことが出来るのは私達しかいない
という見解だ
犯人はこちらと同等の力を持った者…
つまり帝具持ちだな
そんな真似が出来るのは
まさか妹が…？
ボッ
シュ
殺されたのは全員大臣の派閥に属さない良識派の人間だ
大臣から見れば煙たいだけのな
つまり大臣が強制的に消したんだ
ナイトレイドのせいにしてな
Night Raid

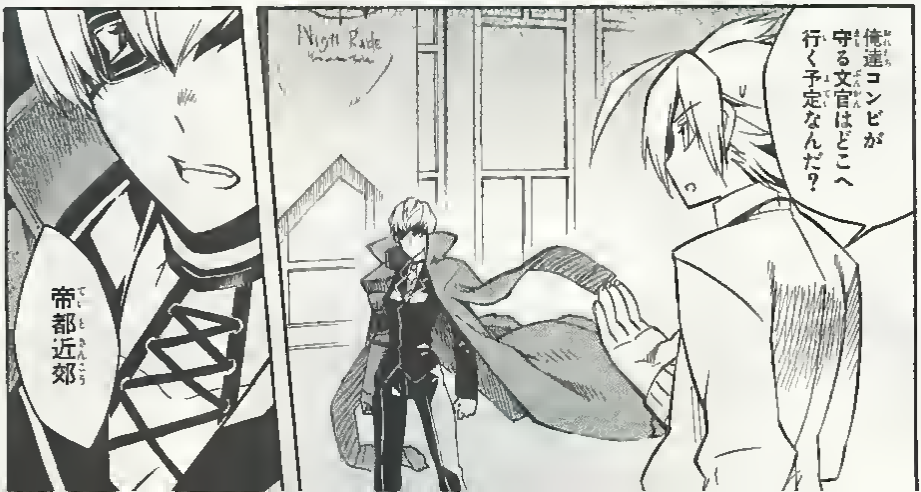
さらに言えば誘いだろ？
本物をおびき出して狩る気だぜ
…これが罠だと分かった上で皆に言っておきたい…
今殺されている文官達は能力も高く
大臣にも抗う
かつ反乱軍のスカウトにも応じない国を憂う人間達だ
そんな文官達こそ新しい国になった時に必要不可欠なんだ
後の貴重な人材をこれ以上失う訳にはいかない
私は偽者を潰しに行くべきだと思う！
お前達の意見を聞こう！

政治の派閥とかは良く分からねぇけど…
俺は…
ナイトレイドの名前を外道に利用されてるってだけで
腹が立つ！
そうだな…
その通りだタツミ！

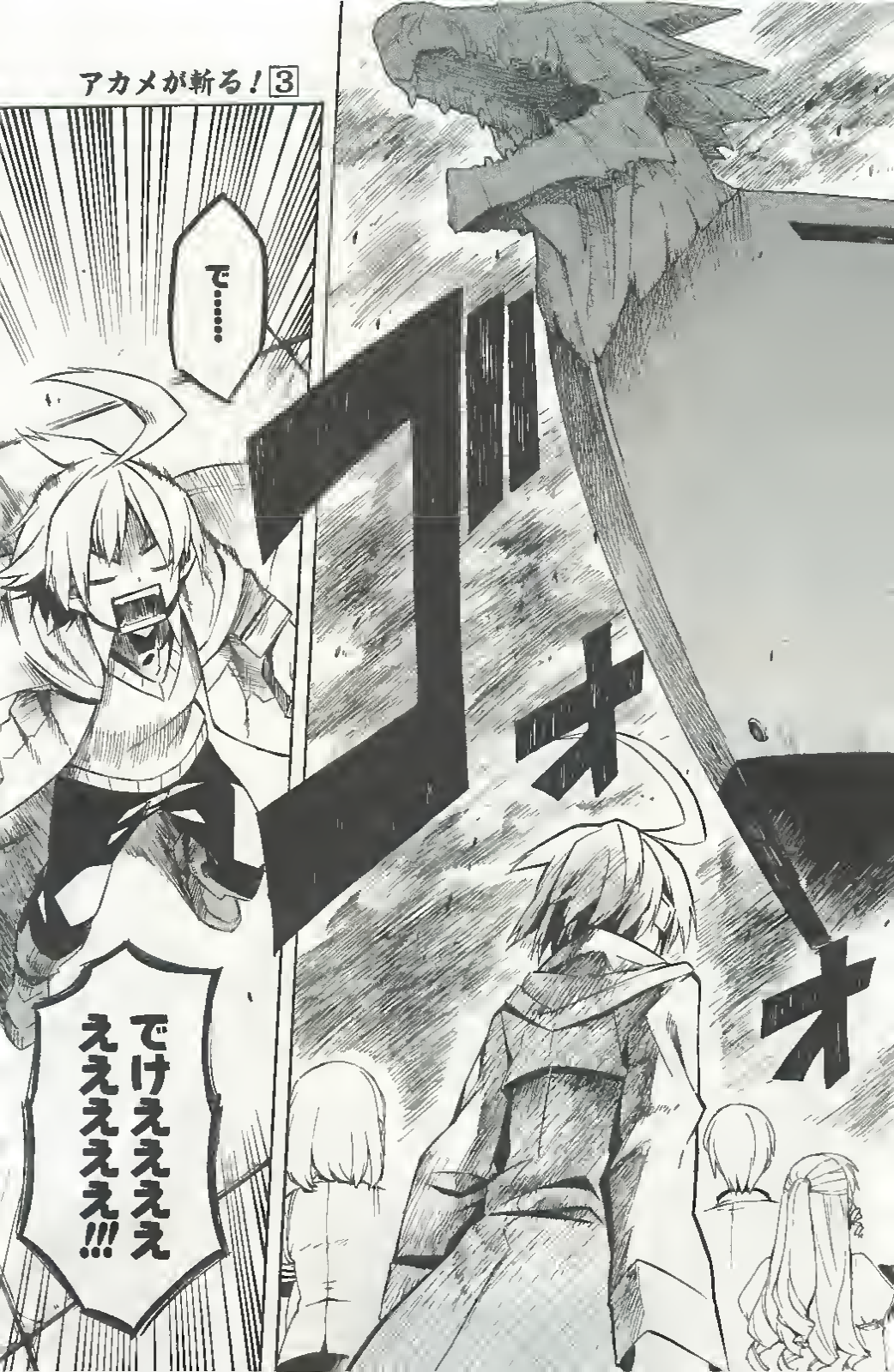
よし…
決まりだ…
勝手に名前を使ったらどうなるか
殺し屋の掟を教えてやれ!!!

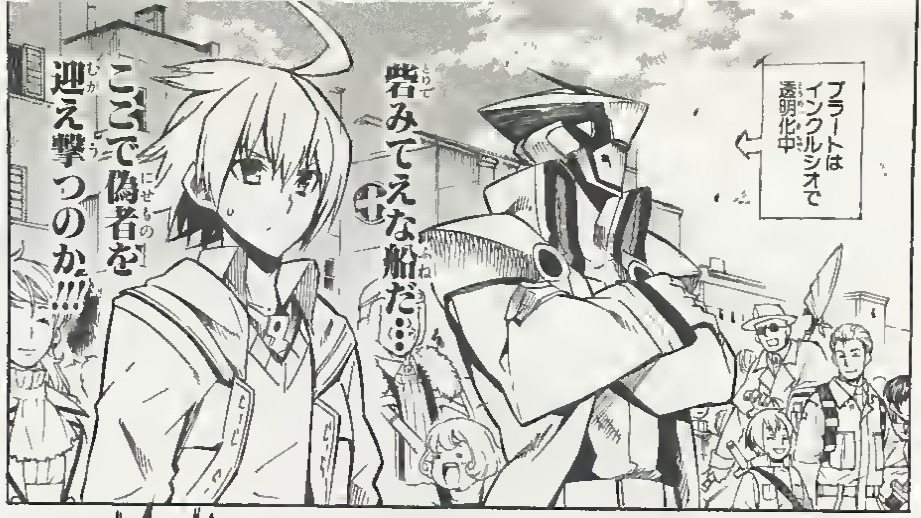
狙われている
であろう文官は
5名程
そこからさらに
宮殿の外に
出る予定がある
者となると
候補は2名に
絞られる…

アカメと
ラパック
タツミとブラートで
それぞれの護衛に
あたれ!!


俺達コンビが
守る文官はどこへ
行く予定なんだ?
帝都近郊

大運河の出発点に
停泊する
巨大要塞宮船
〝竜船〟
オオ


で……
でけえええええええ!!!
ゴオ
オ


ブラートは
インクルシオで
透明化中
ここで偽者を
迎え撃つのか!!!
砦みてえな船だ…!

乗り込むぞ

〝大運河〟

全長2500㎞——

第12話　三匹を斬る

これを完成させる為に帝国は100万人の民衆を動員し

わずか7年という短い期間で工事を終える

民への負担は大きく帝国への不満はさらに高まった

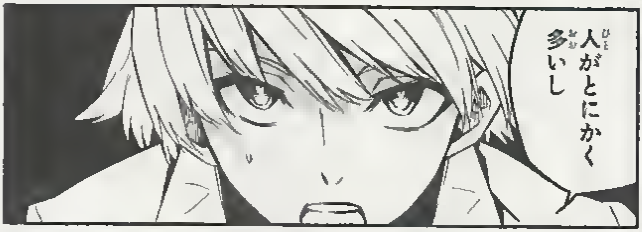
しかし長い目で見れば運河は流通の動脈として間違いなく機能する

帝国の良識派はその発展に力を注いでいた

皇帝が
巡幸で使用する
〝竜船〟
完成セレモニーも
その一環である
おおう…
すっげー
華やか
ポン
ポン
!
お前は
地方富豪の
お坊っちゃま
帝都の
華やかさに
少し緊張気味
インクルシオ
透明化中
その設定を
忘れるなよ
お…おう
兄貴!

第12話　三匹を斬る

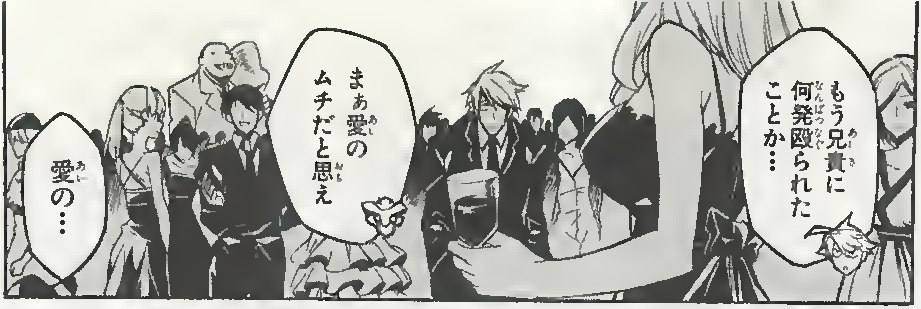
うわぁ
陸からも皆
めっちゃ
見てるな…


人がとにかく
多いし

ナイトレイドの
偽者がここを
襲撃してくる
かもしれない
って話だけど……

守るべき
じーさんは
肉のカーテンの中

こりゃあ暗殺するのは無理だろ
こっちは外れだな
ゴッ
いでっ
決めつけて油断してんじゃねーぞタツミ
あ…
兄貴…
俺が透明化なんて奥の手持ってんだ
敵も何してくるか分かんねぇだろ？
確かに…
悪かったよ兄貴…


もう兄貴に何発殴られたことか…
まぁ愛のムチだと思え
愛の…

愛の…
ピク
三回も言わなくていいから!!!
それにしても便利だねその鎧
おかげで船にも潜入できたし

おう!
コイツで南部農民族との戦線を戦い抜いたんだ
俺の相棒みたいなモンだぜ!

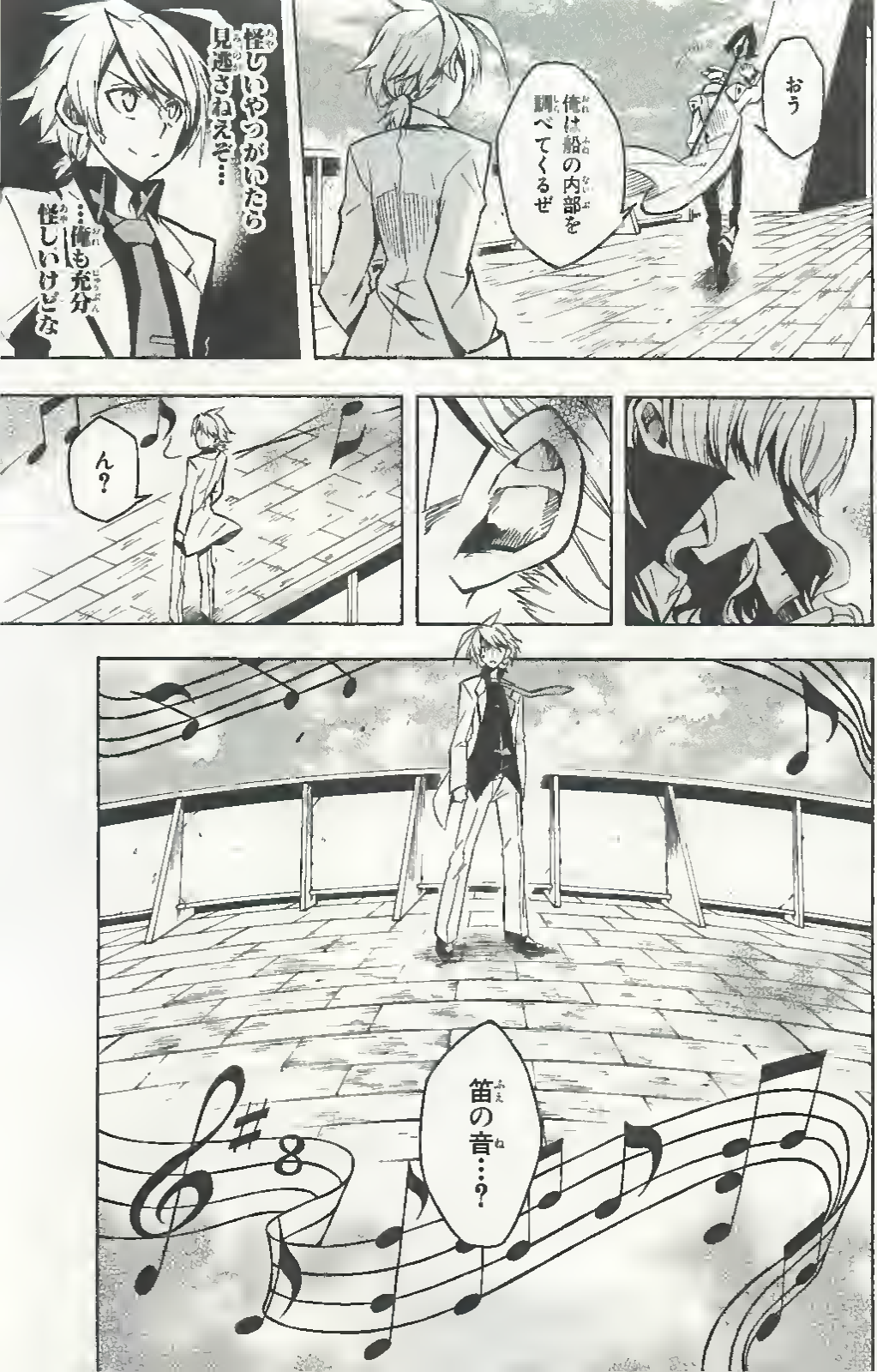
……
…でも
どんなに頑張っても結局な…
納得出来ねぇ!!
なんであれだけの功績をあげた将軍が帝都に更迭されるんですか!!
注・ブラート

私が…
意地をはって
新しい大臣に賄賂を
送らなかった
せいだろう
功績よりも
送った賄賂で
地位が変わる!?
ふざけ
やがって!!
ブラート
私は帝都に戻り
堂々と答弁
するつもりだ
今はこんな
立場だが…
行為は間違ってなど
いない…
きっと分かって
貰えるはずだ

将軍…
時間がかかるかもしれん…
お前の帝具も
地位も…
それまでに没収されるかもしれん…
お前はこんな上司を持ってしまった
許せよブラート

いえ…
ご立派です
だが
帝都に戻った
将軍は口に話も
聞いて貰えず
俺も妬みを
買っていたらしく
罪人に仕立て
あげられていた
俺は
馬鹿らしく
なって
捕まる前に
帝具で逃走
したって訳だ
……
ふざけやがって

おっ
透明化も
そろそろ
限界か…
一度鎧を
外さねば
兄貴は
顔割れてる
だろ？
広場は
任せてくれ

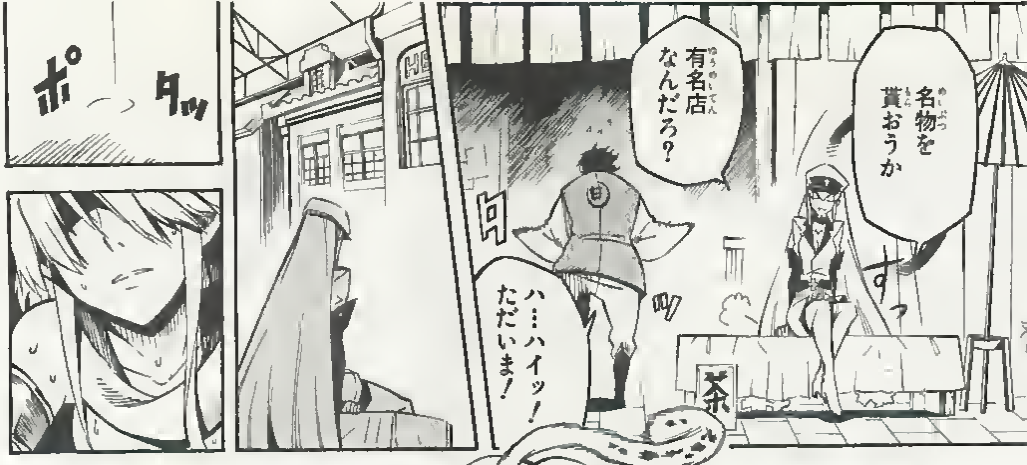

おう
俺は船の内部を調べてくるぜ
怪しいやつがいたら見逃さねえぞ…
…俺も充分怪しいけどな
ん？
笛の音…？

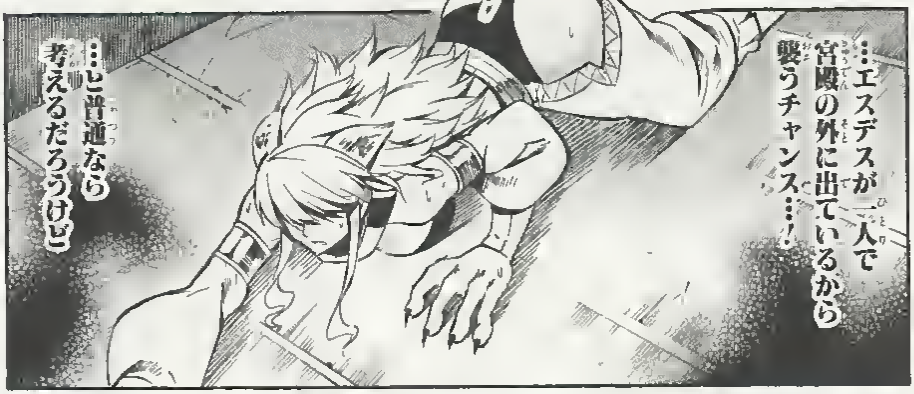
同時刻
帝都
メイン
ストリート
甘味処
甘えん坊

そう
かしこまるな
挨拶回りだ
これからは私が
帝都の
警備をする
はは―っ
心強い限りです
エステス様!!

こ…
これは
ほんの…
ジャラッ

私に賄賂は
いらん
次やったら
痛めつけるぞ
ギャ――ッ
もう充分
痛いです!!!


名物を
貰おうか
有名店
なんだろ？
ハ…ハイッ！
ただいま！
ポ
タッ


…エスデスが一人で
宮殿の外に出ているから
襲うチャンス…！
…と普通なら
考えるだろうけど

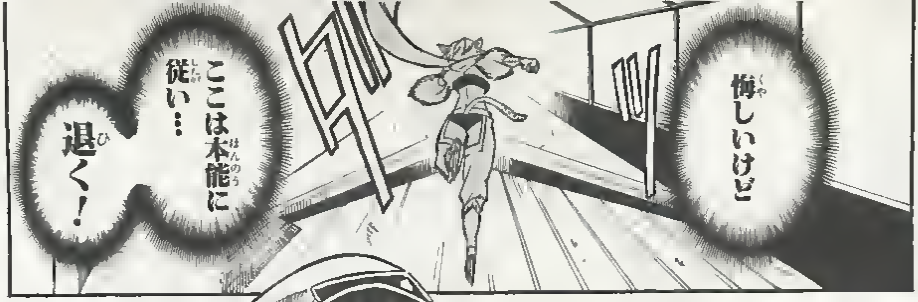
獣化してる
今だからこそ
分かる…！
単独行動は
刺客を誘い込む
罠っ…!!!

その証拠に…
あいつから
滲みでる
〝匂い〟は…

禍々しいまでの
殺意……!!!

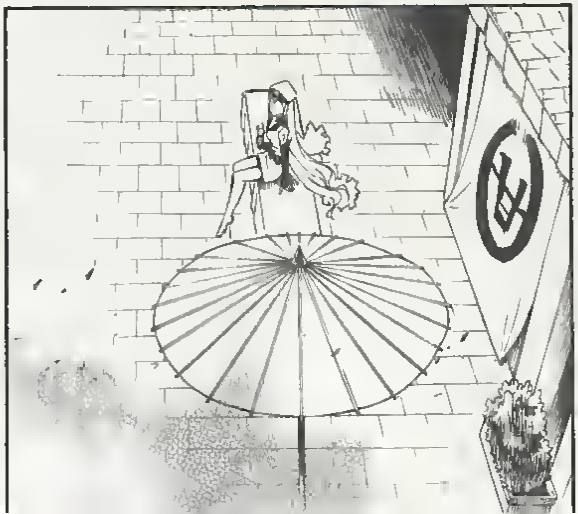
ボタ
ボタ
ボタ…

隙あらば
倒そうなんて…
甘かった…!

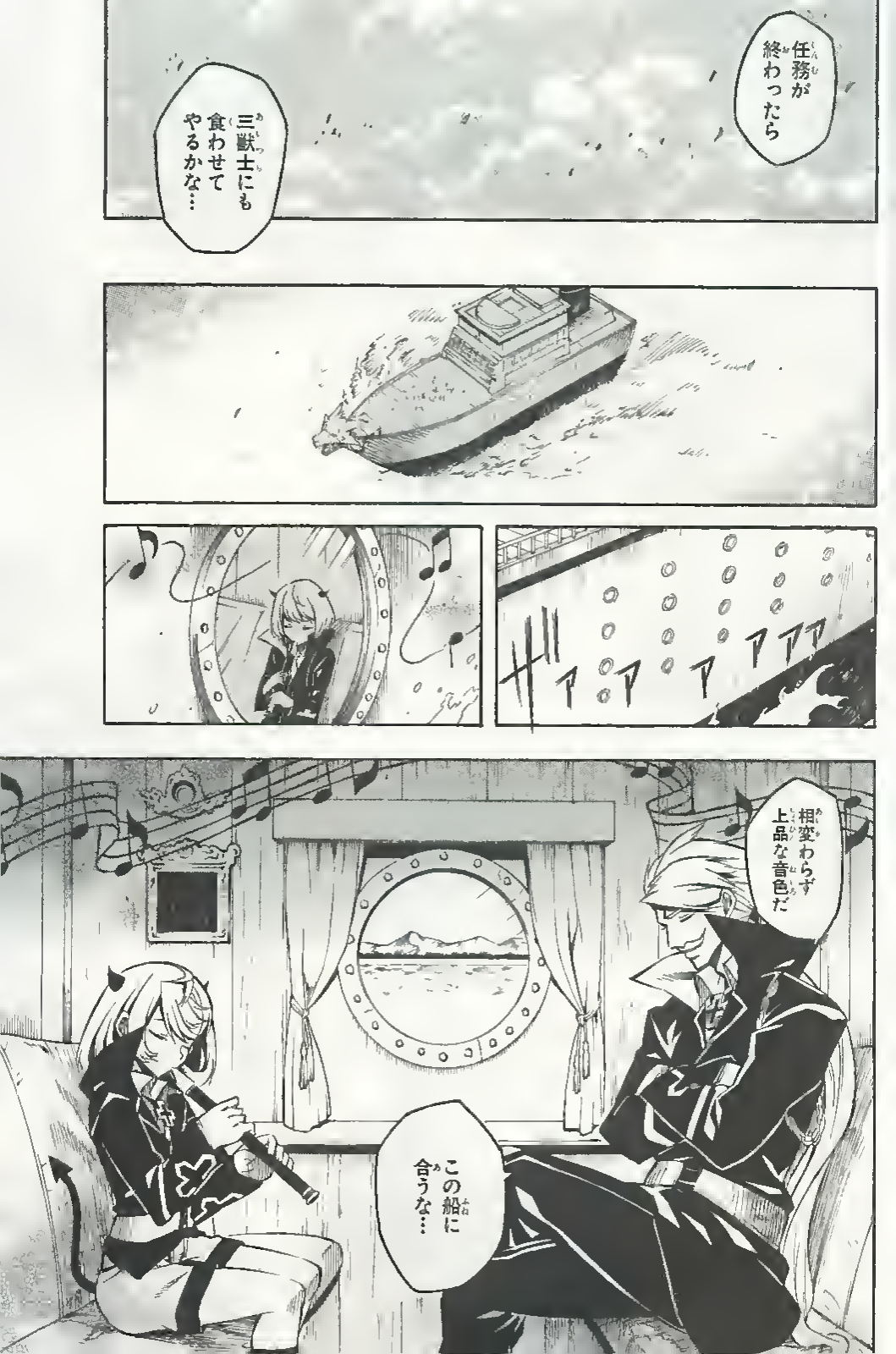

悔しいけど
ここは本能に従い…
退く！

誘いに乗らなかったか…
残念だ
新しい拷問を試したかったのだが

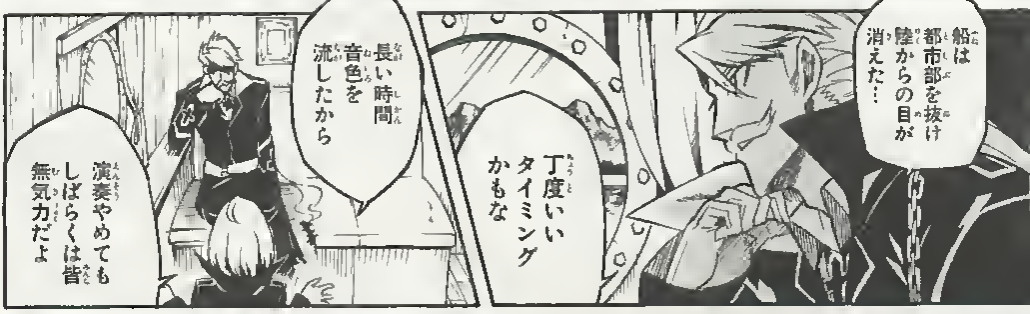
…む？
気配が消えた…



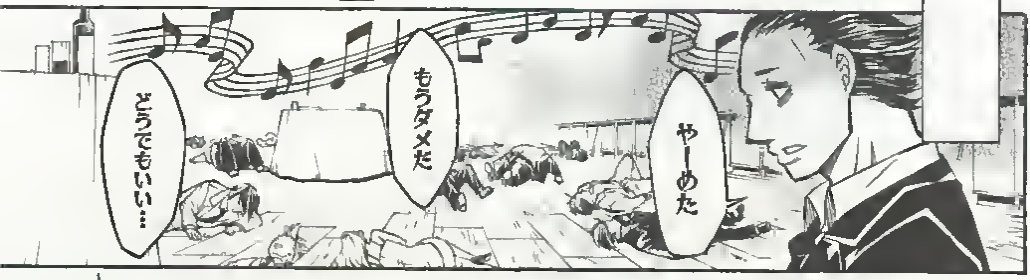
……
コレ美味いな


任務が終わったら
三獣士にも食わせてやるかな…
アアアアアアアア
相変わらず上品な音色だ
この船に合うな…

ースクリームー
聴いた者の感情を
自在に操作する
笛の帝具
戦場の士気昂揚用
として知られて
いるが
実のところ操れる感情は
数十種類に及ぶ
(何度も聴く事で
曲に耐性は出来る)


船は
都市部を抜け
陸からの目が
消えた…
丁度いい
タイミング
かもな
長い時間
音色を
流したから
演奏やめても
しばらくは皆
無気力だよ

笛の良さが
分からん田舎者も
いるかもしれん…
油断するな
ハーイ
念のため
もうちょっと
吹いておくね!


やーめた
もうダメだ
どうでもいい…

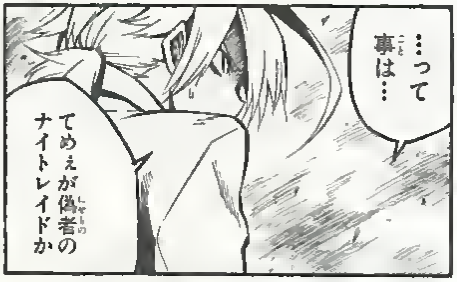
……!?
一体どうしたんだ!?
クッ…!!
クッ…
兄貴を呼ぼうにも体から力が抜けやがる…！
さっきから流れ続ける笛の音…
これなのか？

…!?
雷いでも
関こえてくる…
やっぱ帝異か！
あ――っ

隠れてるの
ダルかった――
…おっ！

この状況でまだ
頑張ってる奴が
いるじゃねーか
！

催眠にかかってりゃ記憶は曖昧
生かしておいてやったものを…


…って事は…
てめぇが偽者のナイトレイドか

！
そっちは本物さんかい！
こりゃあいい

ほらよ
！

なんのつもりだ？

俺はさ…
戦って
経験値が
欲しいんだよ
最強に
なる為に…
かかって
来いよ
この位置なら
人も倒れてないし
やりやすいだろ？
……
あ…そ

じゃあ
いい経験
させてやる
地獄
巡りだ!!!
いいぜえ!!
その
威勢の
良さ!!

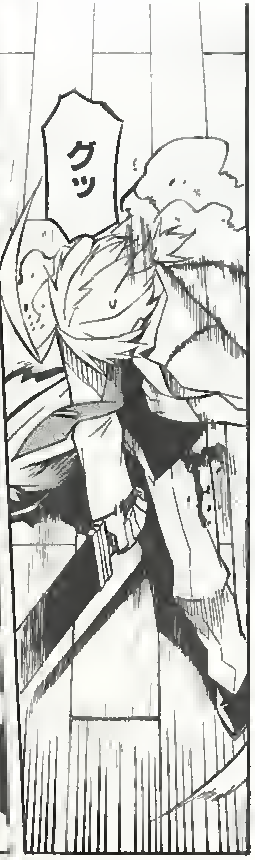
すっげえ
ぶっ壊し
甲斐がある!!!

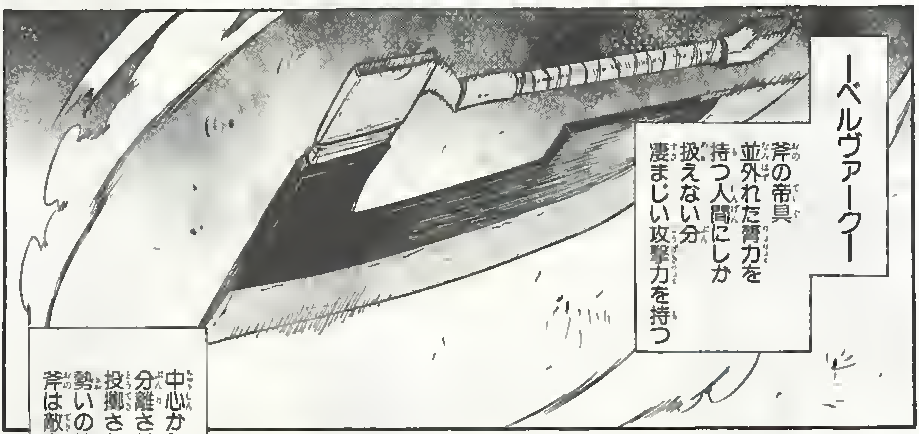
ハアッ
ハアッ
音にやられた体で…
よく避けたじゃねえか…
だったら
コレはどうだオラァ!!
!?

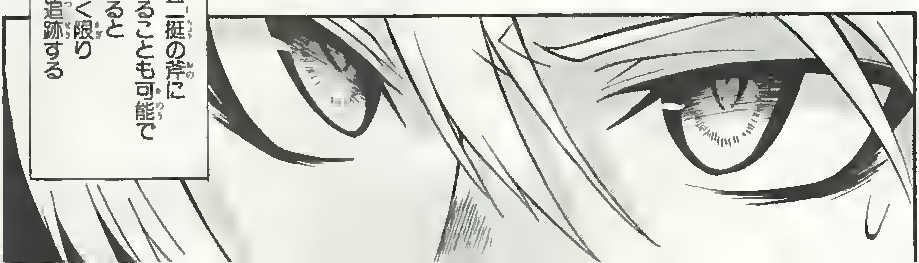
なっ!?

このままじゃ…
やられる…!!

やべえ…
演奏のせいで
体が思うように
動かねえ…


グッ


ーベルヴァークー
斧の帝具
並外れた膂力を
持つ人間にしか
扱えない分
凄まじい攻撃力を持つ


中心から二挺の斧に
分離させることも可能で
投擲されると
勢いの続く限り
斧は敵を追跡する

やっぱり
俺を追ってんな！
こうなったら!!

うおおおおおおおおおお
ドドド

馬鹿かてめぇはぁあ!!!
ドン

相手は手慣れた様子で待ち構えてたろうが！
どう見ても必勝形態!!
そこにホイホイ突っこんでどうする!!!
ビ
ど、
あ…兄貴…

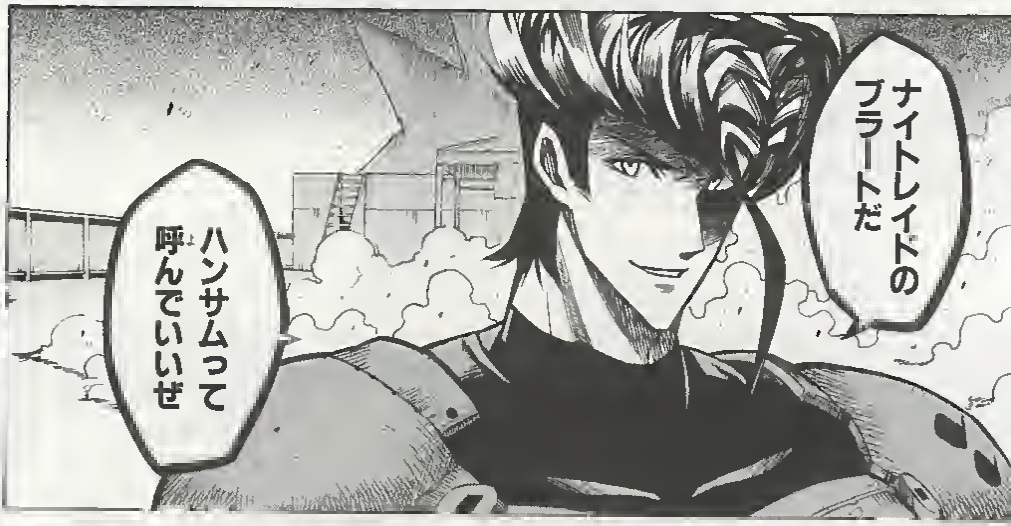
ハ°ミ

てめぇ やけに元気だな…
無気力化の演奏は船全体に響いてたはずだが…

そういう演奏だったのか…
だったら効かないハズだぜ
あん?
俺の体に流れる熱い血はよ…
他人に褒められるモンじゃねーんだよ!!

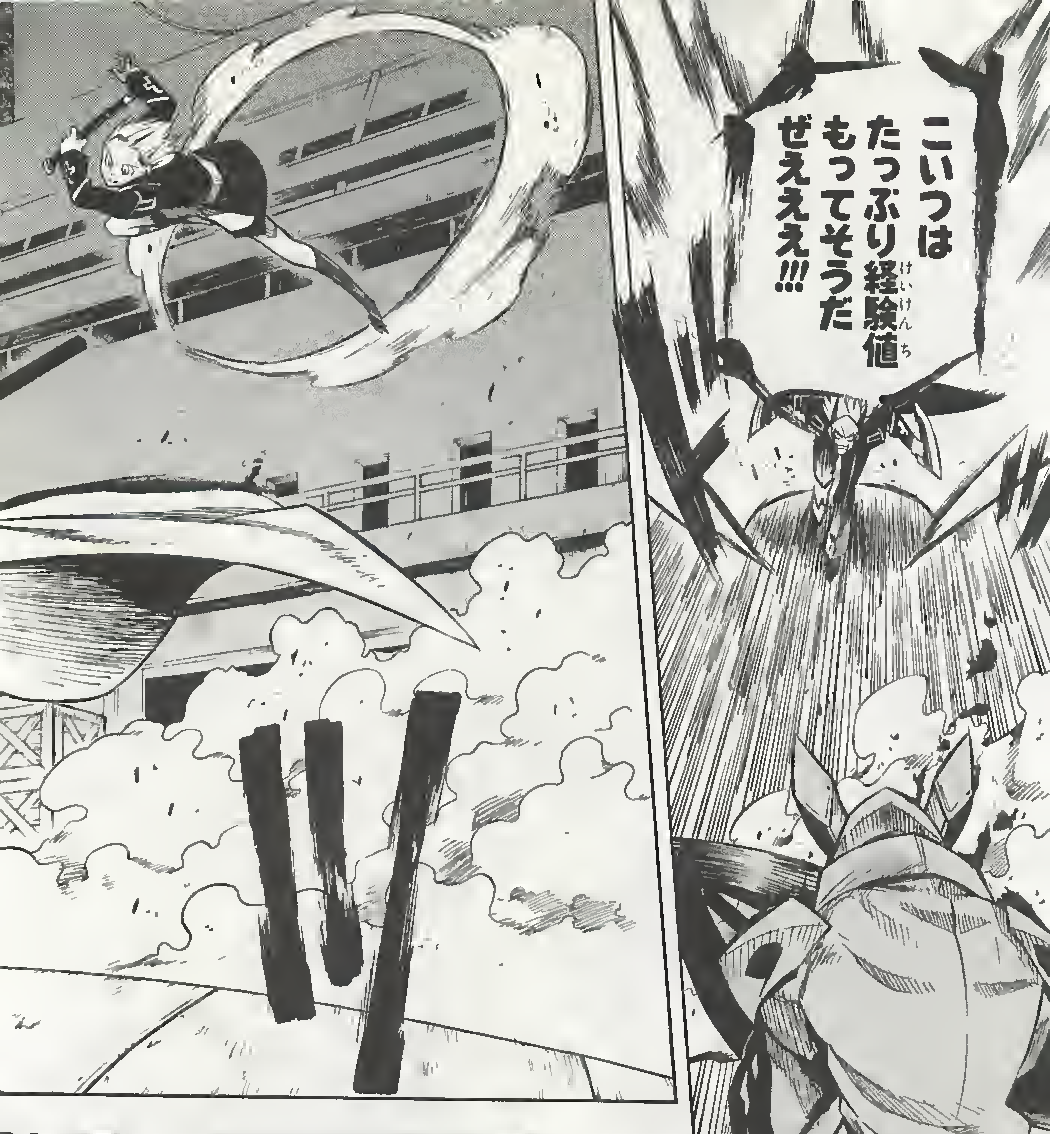
面白ぇやつだ…
体えぐって痛みで洗脳に対抗しやがったか…

!!…コイツ
フン


ナイトレイドのブラートだ
ハンサムって呼んでいいぜ

僕エスデス様の
三獣士ダイダラだ

タツミ
お前は
俺の戦い方を
しっかり目に
焼きつけとけ


こいつは
たっぷり経験値
もってそうだ
ぜえええ!!!

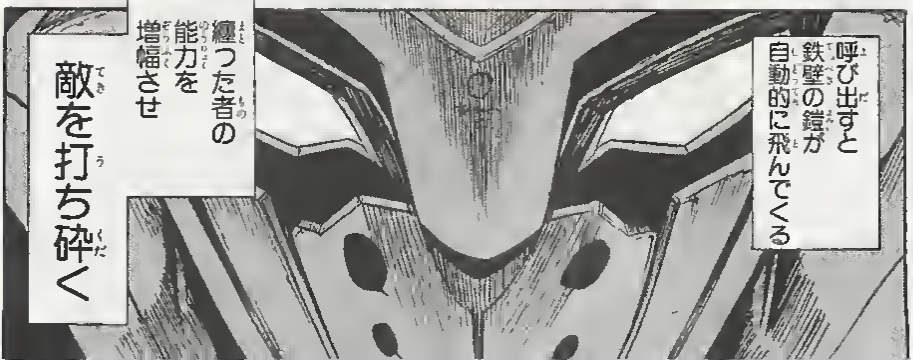
さっきの破壊音は
やはりナイトレイド
が来ていたか…
迷わずタイダラを
援護する!!

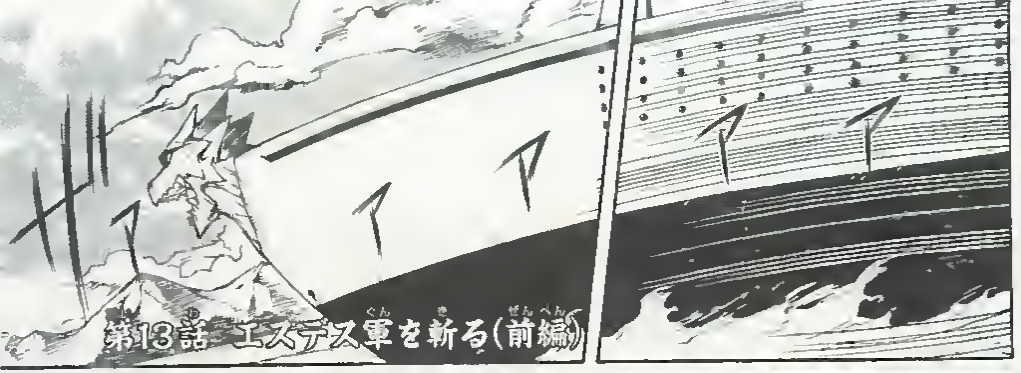
僕が決める！
頭蓋骨
ばっくり!!
!!
兄…！

え？

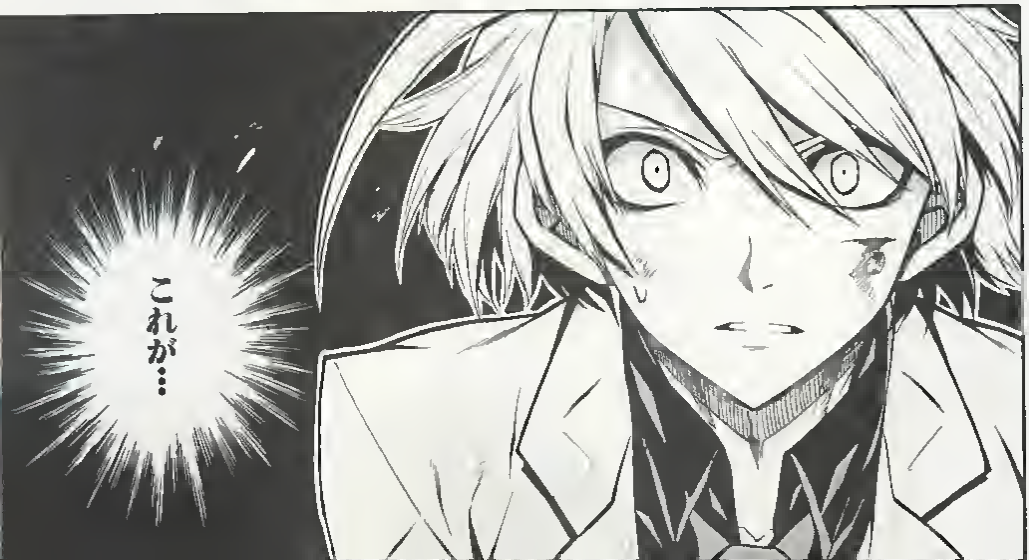
……!!!
タツミ…

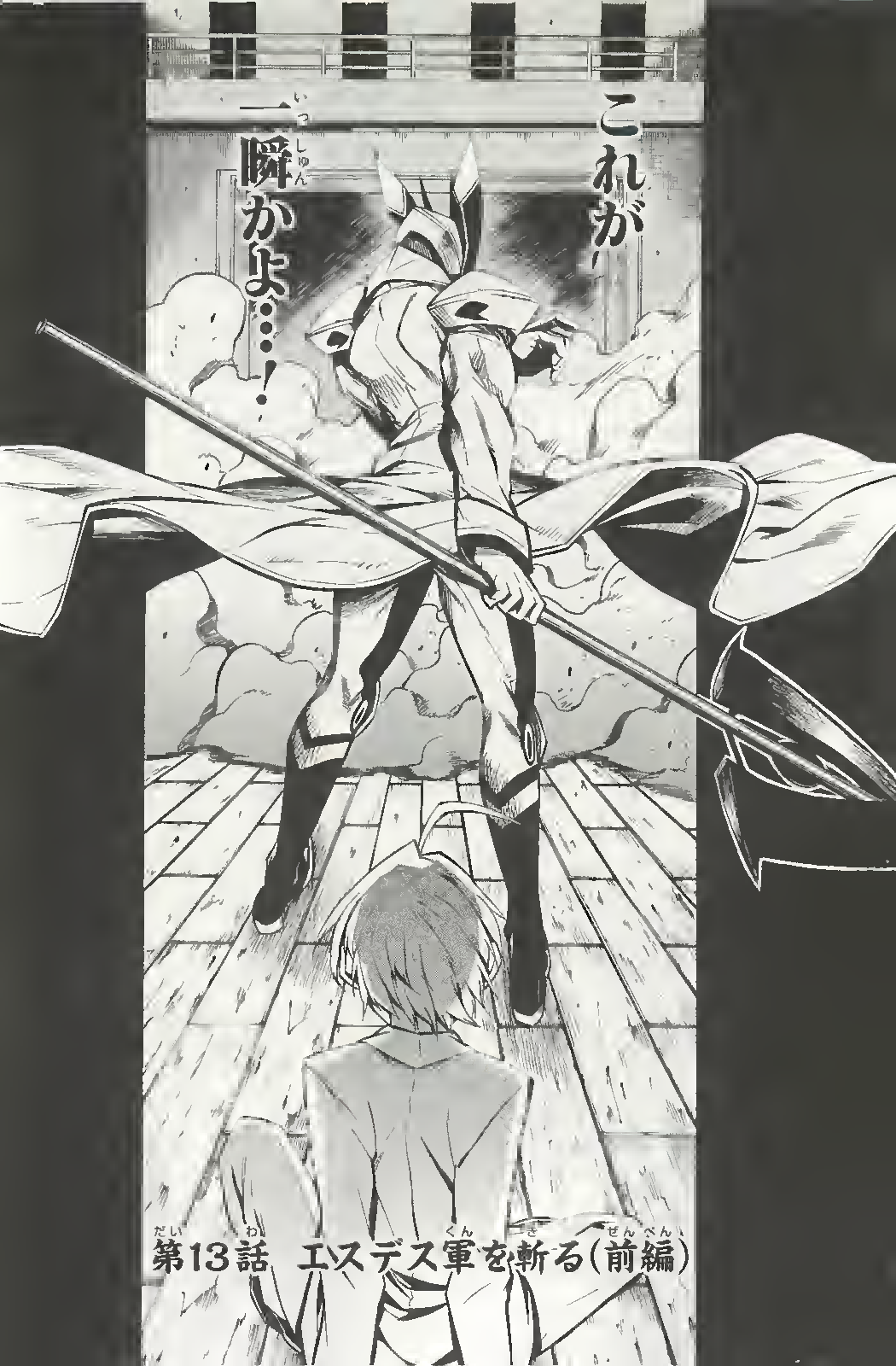
これが前言った
周囲に気を
配るってやつだぜ
ーインクルシオー
凶暴な危険種を
素材として
造られた
鎧の帝具


呼び出すと
鉄壁の鎧が
自動的に飛んでくる
纏った者の
能力を
増幅させ
敵を打ち砕く



第13話　エステス軍を斬る（前編）





第13話　エスデス軍を斬る（前編）

兄貴って…
強いと思ってたけど
めちゃめちゃ
スゲエんだな!!
おうっ!
俺の兵士時代の
あだ名は
100人斬りの
フラートだぜ?
正確には
128人
斬ったな
あの時は
特殊工作員を
相手に
大活躍だった

その帝具…
その強さ…
やはりブラートだったか…！
ドガ
!!
……
リヴァ将軍…

もう将軍ではない…
エスデス様に救われてからは
あの方の僕だ

え…
この人って
兄貴の昔話に出てきた…

ヒュウウウウ
味方なら
再会を祝して酒でも飲んだろうが…

敵として
現れたなら…
斬るのみ!!
任務は
完遂する!!!
こちらの
台詞だ
絶対に任務
は完遂する
主より
授かった
この帝具でな

ブラックマリン
指輪の帝具
水棲危険種が
水を操作する為の
器官を
素材としており
装着者は
触れたことのある
液体なら
自在に操れる
お前達と
戦う場所がここで
あることが
幸運だ！
水使いか！
氷使いの部下らしい
帝具だ！
私は
水がないと
無力だが…
エスデス様は
無から氷を
生成出来る…

同格(どうかく)にはするなよ恐(おそ)れ多(おお)い!!!
水塊弾(すいかいだん)!!

しゃらくせえ!!
いた…
アイツ…エスデス隊の次くらいに強い…
でも河の上でならリヴァが何せる
僕も援護を…!
ズッ
ちょっと待ったあああ!!
!!

俺だって
いつまでも
虐められてばかりじゃ
ないんだぜ
コイツ…
邪魔
よし！
体も動く
ようになって
きたぞ！

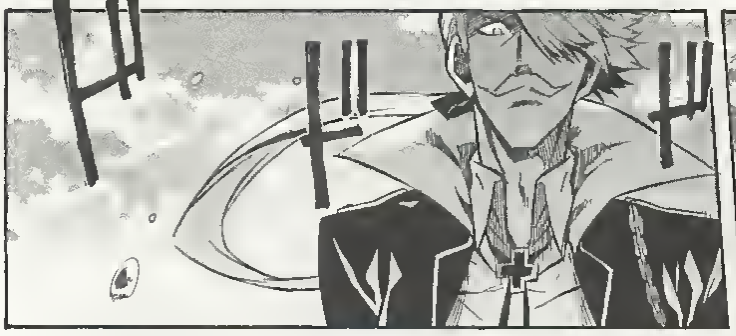
ガ
ガ
ガ

グア!!
クソッ
コイツ
めちゃくちゃ
逃え…
けど…

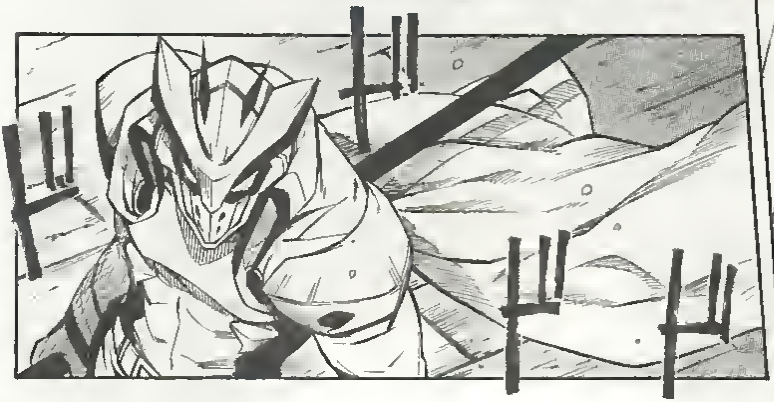
アカメの方が速え!!
ハッ
殺し屋と比べるな!!

うー
さっきの攻撃が
効いてなきゃ
こんな奴…

…にしても
手負いでこの動きなんだよな…
三獣士…
オーガとか霞むぐらいの
強さだぜ…



！



うわっ
あっちは凄いことになってる!!!

あはっ
水が豊富にある所ならリヴァが勝つね！
へっ
兄貴が勝つに決まってるぜ！

リヴァだね
兄貴だね！

水圧で
潰れろ
ブラート!!

深淵の蛇!!
しんえん
へび

うおおおおおおお

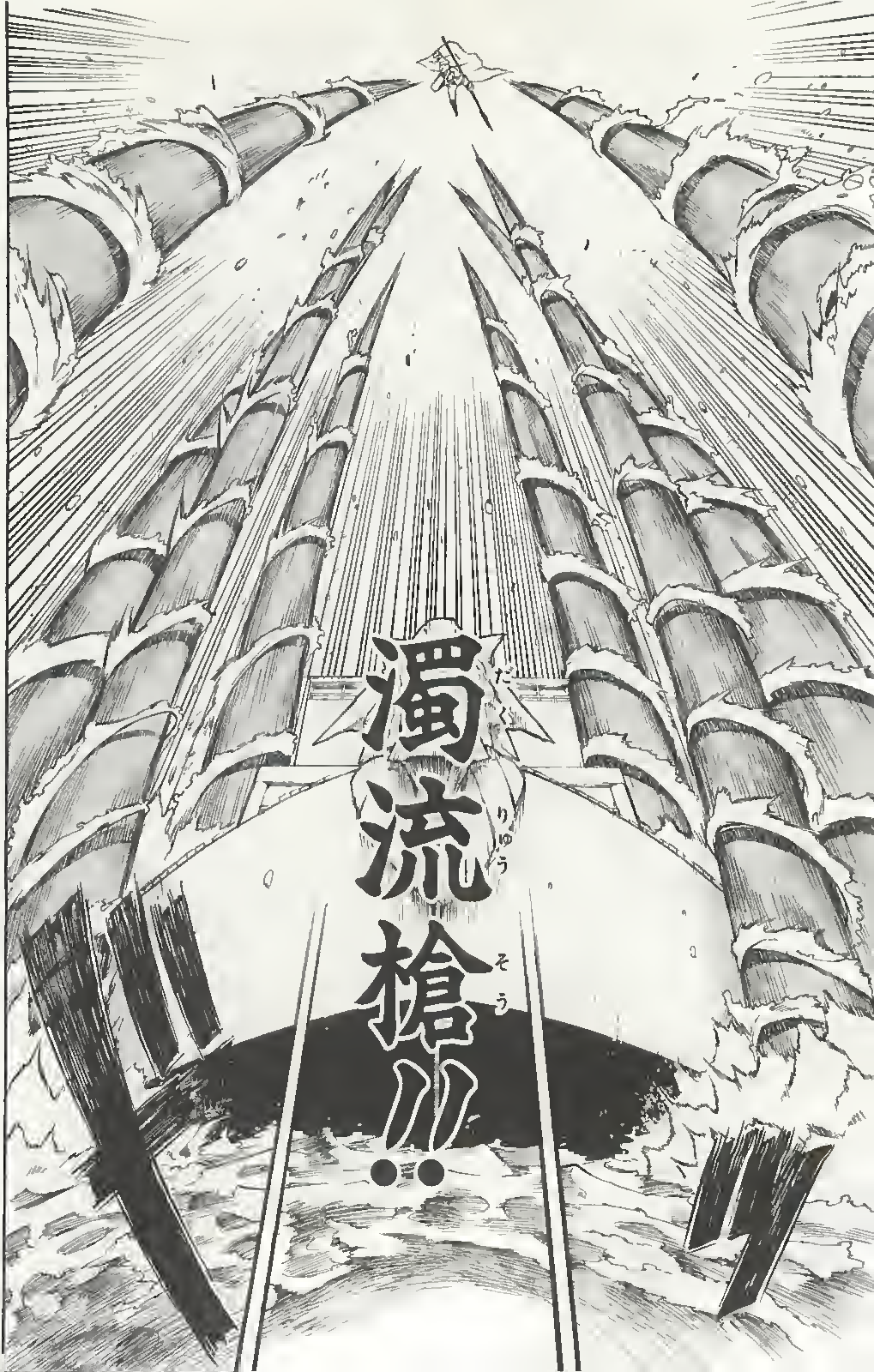
避けずに蛇を潰しに来ると信じてたよ…

船が壊れたら大量の死者が出るからな

だが!!!

船上ならともかく

動きのとれぬ空の上でコレはかわせまいっ!!!


濁流槍!!
だくりゅうそう!!

水かけられたぐらいで…
俺の情熱は消えねえ!!!

そう…
アレではまだお前を倒せない…
!!
分かっているつもりだ

お前とは
数々の戦場を
共にしてきた
その
強さも
勇猛さも
私が一番良く
知っている
ゴゴゴゴゴゴ
だからこそ
最大最強の
奥義を
馳走してやる!!

水
すい
龍
りゅう

天
てん
征
せい

ぐおおおおお
おおおおお!!
やったか?

そういう台詞を吐くって時はなあ!!!
!
たいていやってねえんだよおおお!!!
耐え抜いたのか…!!!

ケッ
パ
あ…はは…
残念だったね
せっかくリヴァを倒すチャンスだったのに…

兄…貴…
すまねぇ 兄貴
足止めも満足に出来なかった…
気にすんな

帝具無しで
生き残ってる
だけでも上等だ！
兄貴…
……
中身まであんなに
傷ついて…
一定以上の
ダメージで
解除される
ようだな…
勝負は
見えた…
強がるなよ
耳の穴から
血が出てるぜ
リヴァ
ドゴッ
！

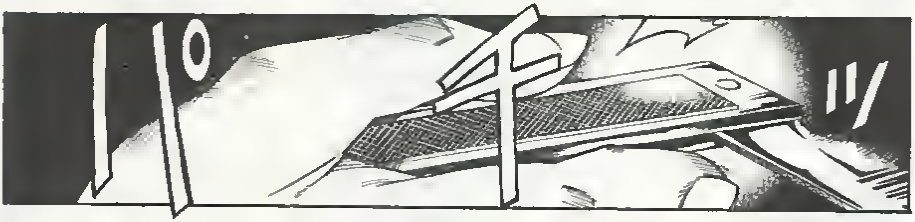
あれだけの大技を連発したんだ
体の中はボロボロ
お前も帝具を使えるコンディションじゃねぇだろ
……バレては仕方ない…
交渉を有利に進めたかったのだが…
問おう
ブラート
エスデス様の軍に入る気はないか…？
お前なら副将に取り立てられるだろう
この国に仕える気はもう一切ねぇよ
国ではなくエスデス様に仕えると考えろ…
私もそれで救われた

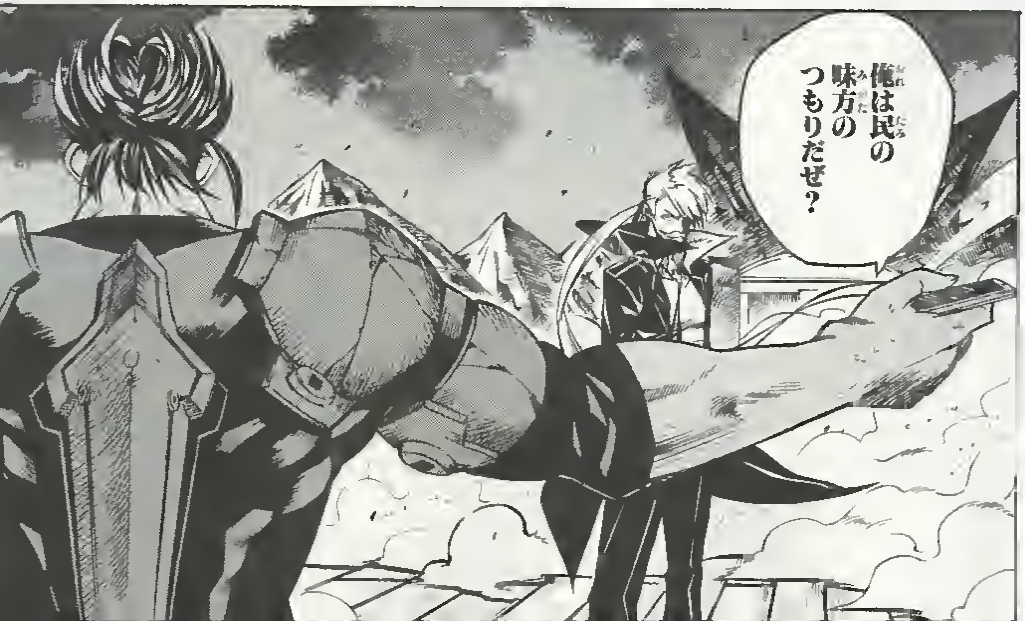
思うがままに暴れられ…
他者から恐れられる…
そう
いつも汚い政治を撒き散らしてる官僚達ですら
媚を売ってくる程の力……!!!
……
私と来いブラート!!!
あの方ならお前の罪すら消せるぞ!!

断る

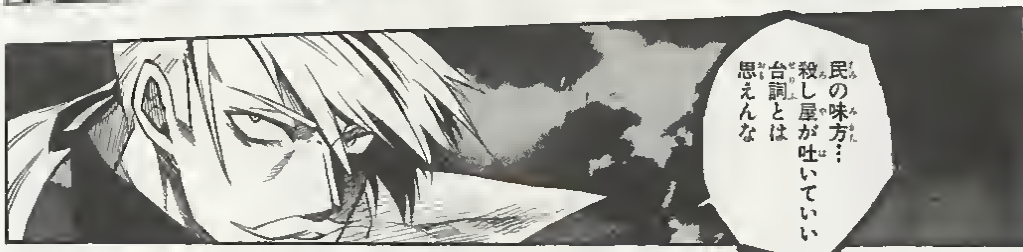
今のポジションは心地良いかもしれないが…

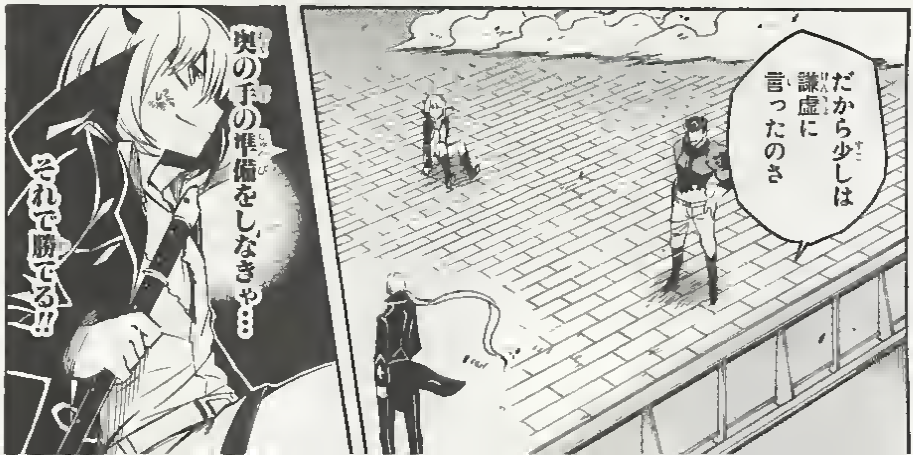
官僚達に絶望したアンタには

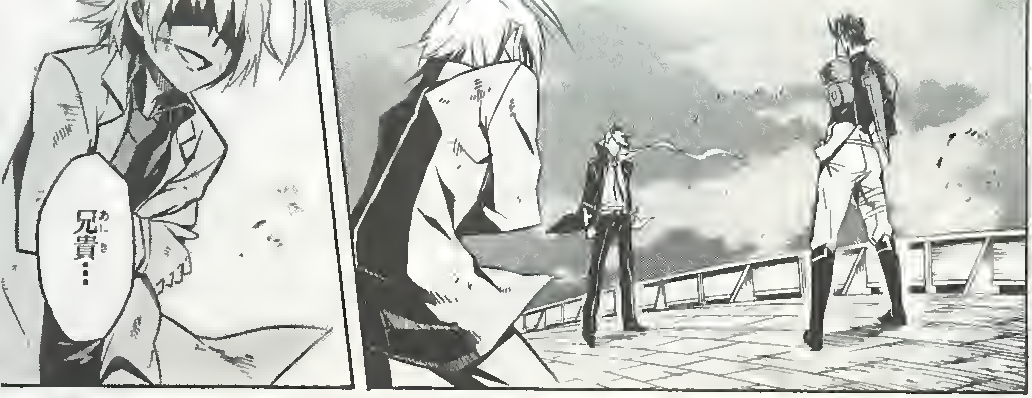

パチッ

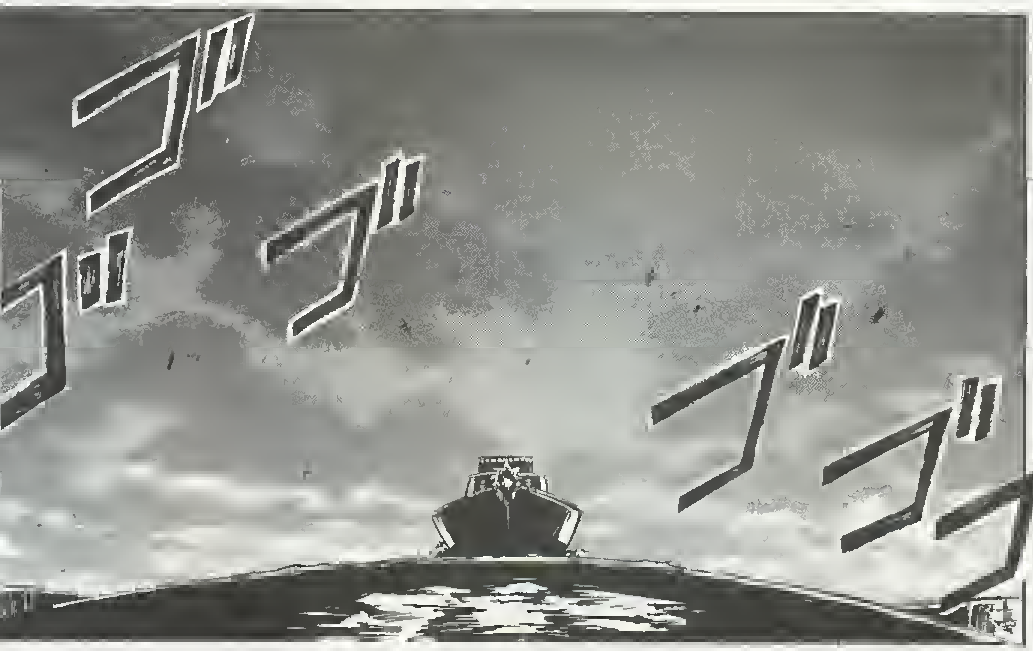

俺は民の味方のつもりだぜ？

大臣と組んでる
エスデス軍じゃあ
ソイツは
気取れねぇなぁ


民の味方…
殺し屋が吐いていい
台詞とは
思えんな

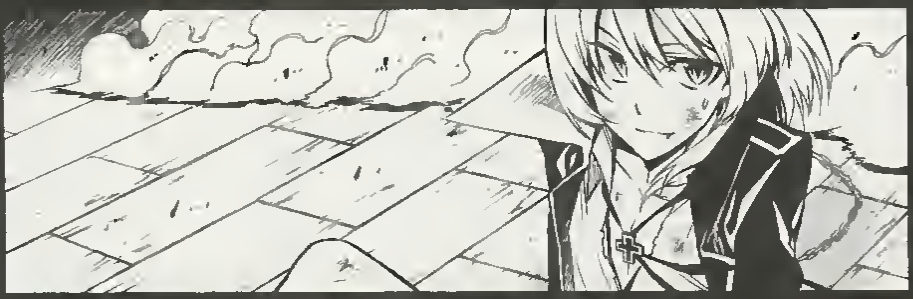

だから少しは
謙虚に
言ったのさ
奥の手の準備をしなきゃ…
それで勝てる!!





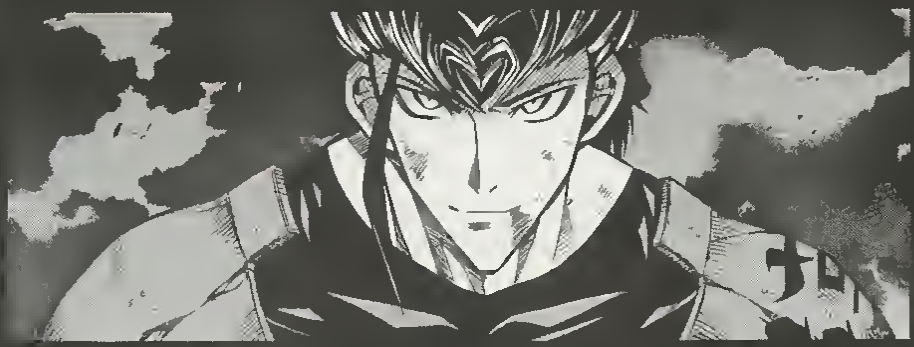
これから、5分もせずに
死闘は決着を迎える

その結果



この船から生きて降りる事の出来た帝具使いは――

たった



一人だった

第14話 エスデス軍を斬る(後編)

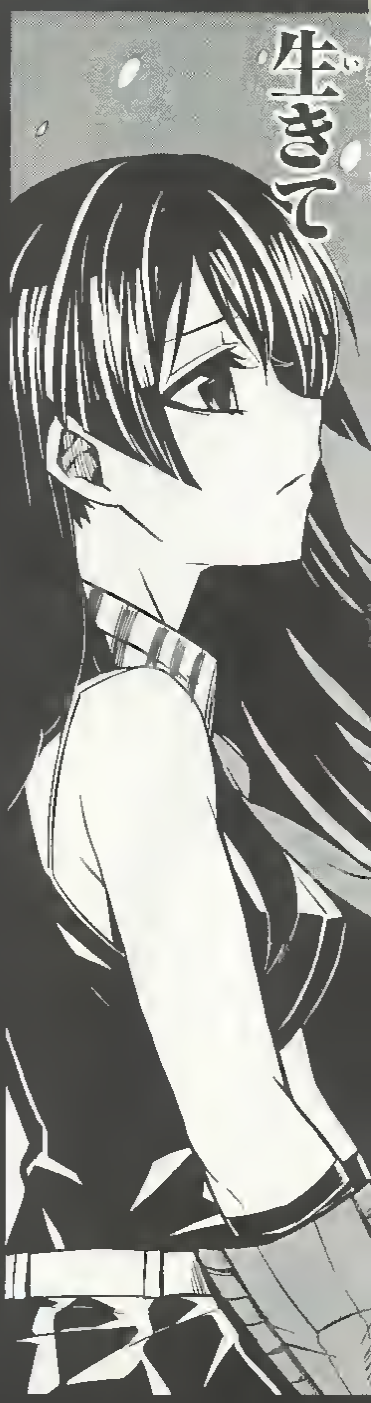
糸はどうだ？
相変わらず反応なし！
俺達は外れ引いたかもね

油断は禁物だ

分かってる
完璧に護衛してみせる

タツミ…
ブラート
もし敵がそちらに行っていたら…!!
たのむ

第14話　エスデス軍を斬る（後編）



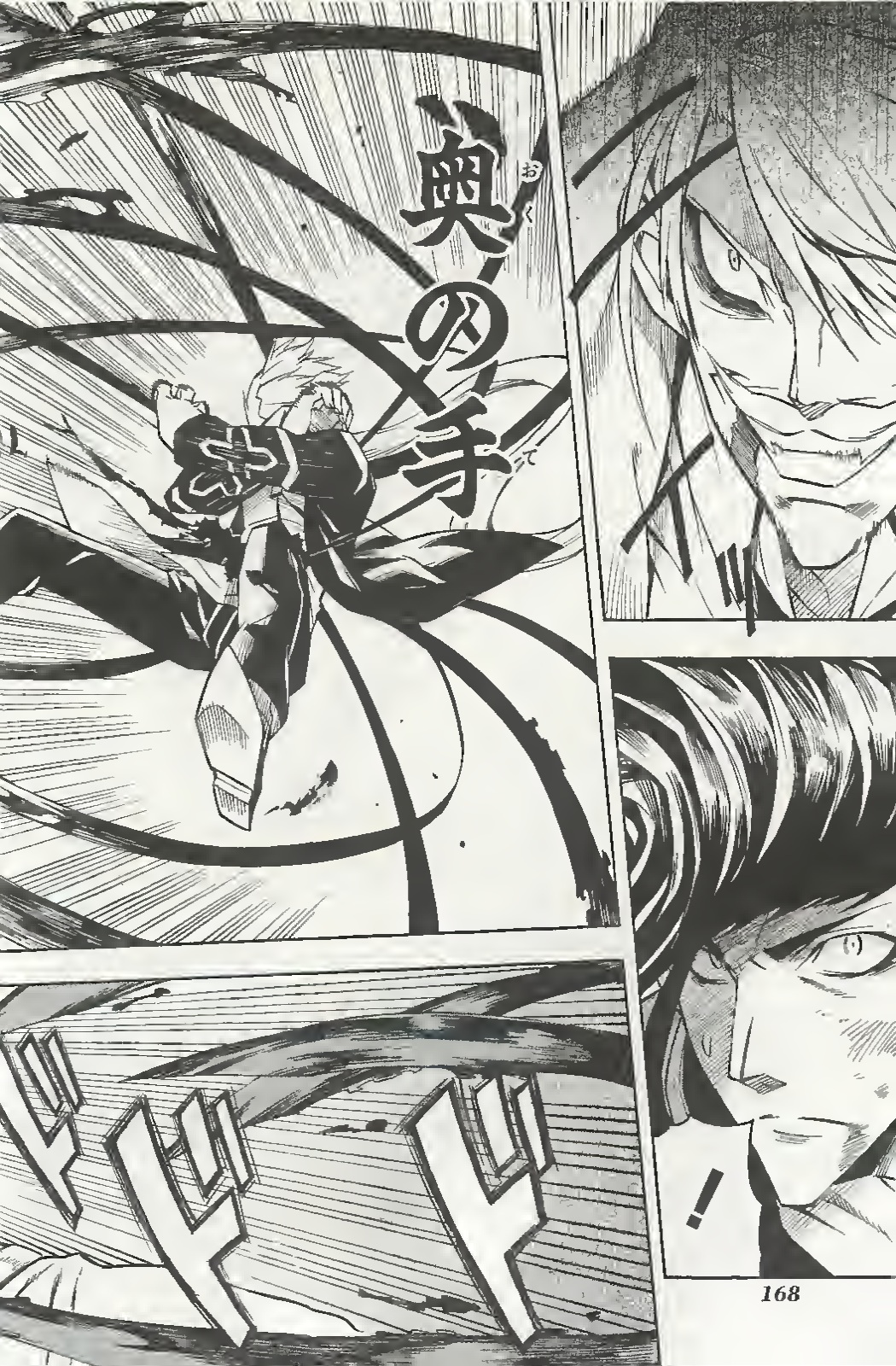
互いに帝具が使えないなら
剣で決着をつける…!!

ふんっ!!
!
ドーピングをさせて貰うぞ
お前が相手だからな…
ドカッ

あ…兄貴!!
コイツ なんか ヤバイぞ!!
カチッ
手強い相手 なのは…
覚悟の上だ
…いくぞ!!

あれが手負いの人間の動きかよ…
…なんて迫力だ！

ぐはっ
ぐっ
やった！


奥の手
!

血刀殺!!
けっとうさつ
!!
やはり何か隠して
やがったか!!

うおおおおおおおお
ぐっ…

た…
大丈夫か兄貴…!?
致命傷はうけてねえ
安心しな

命を振り絞った攻撃…
対応するとは…
見事
血しぶきを見た瞬間
これも一種の水だと思ってな
さすが！

俺が足を引っ張っちまったが
こんな強敵相手に二人とも生還出来る
良かったぜ…

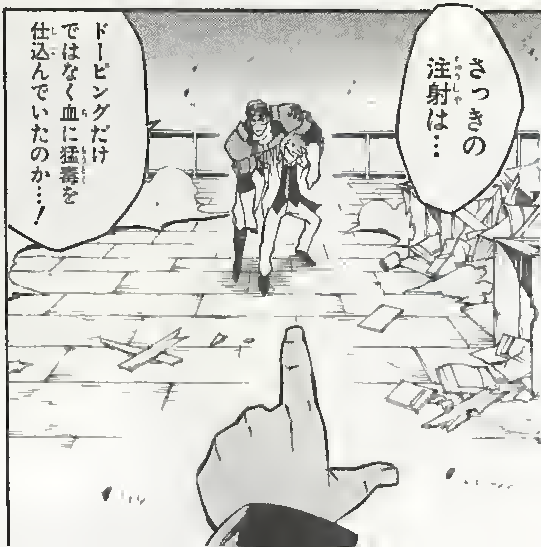
ブラート
一つだけ言っておく…
私がエスデス様の軍にいる真の理由は…
ガラガラガラ
ガチャッ

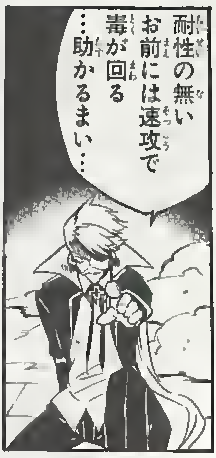
お前はこのまま消えるには勿体無い人材だ
戦上手の副官を捜していたところだ…
我が軍に入れ
…そうしたくても私は罪人だ軍には戻れん
ウジウジするな
くほっ!?
戻れるさ…私がそう欲したからだ
…ということは誰にも反対なぞさせん

大臣が…
私の武力のおかげで大臣も助かっている
武力が増すのならば…
歓迎すべきことだろう？
私の元へ来い
リヴァ
まだ何か
懸念があれば
全て取り払ってやる
…ただ

あの御方を慕っていた…
…それだけだ！
…リヴァ…
だから…
エスデス様に仕える者の意地として
お前の命だけはもらって逝く!!!

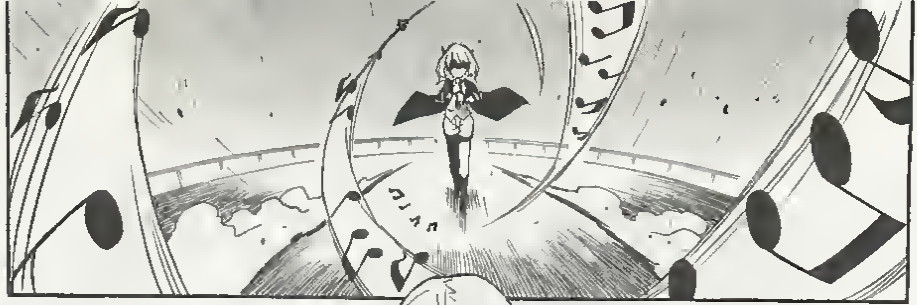
ビ
ニャッ
！
兄貴!!


さっきの注射は…
ドーピングだけではなく血に猛毒を仕込んでいたのか…！


耐性の無いお前には速攻で毒が回る…助かるまい…

先に…逝っている…ぞ……

ガッ
ポツ
ポツ
さすがは元俺の上司…
ァアアアア
相討ちかよ…
早く手当てを!!
グハッ
ゼェ
ゼェ
ゼェ
…タツミ…
まだ戦いは終わってねえぞ…
え…
あ…

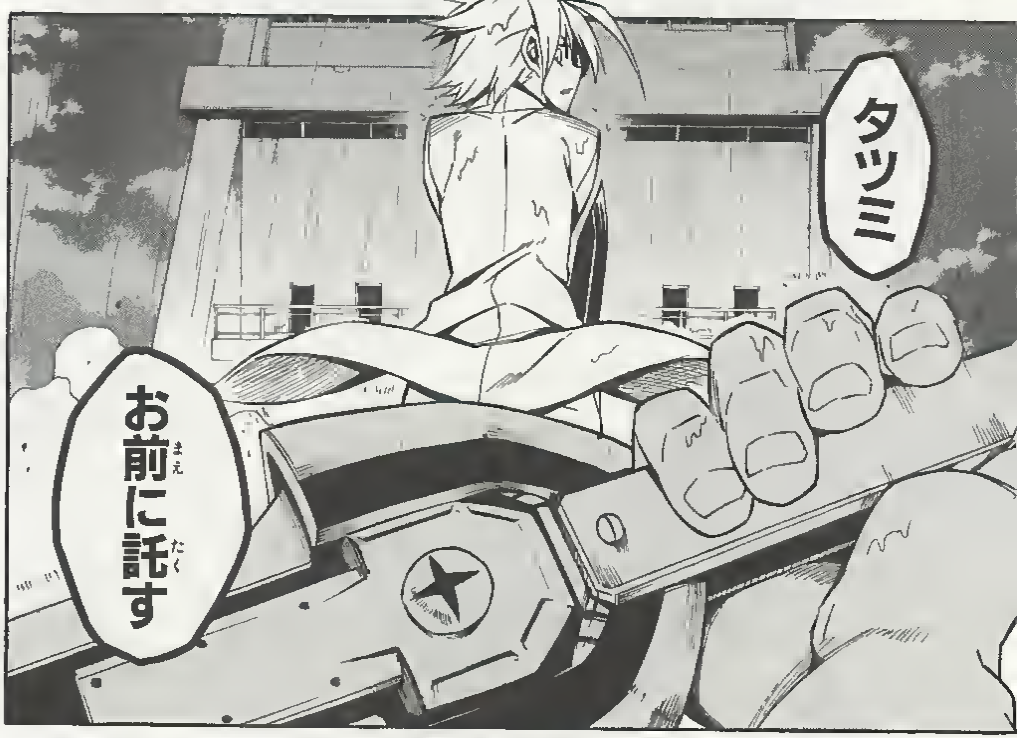

コンッ
コンッ

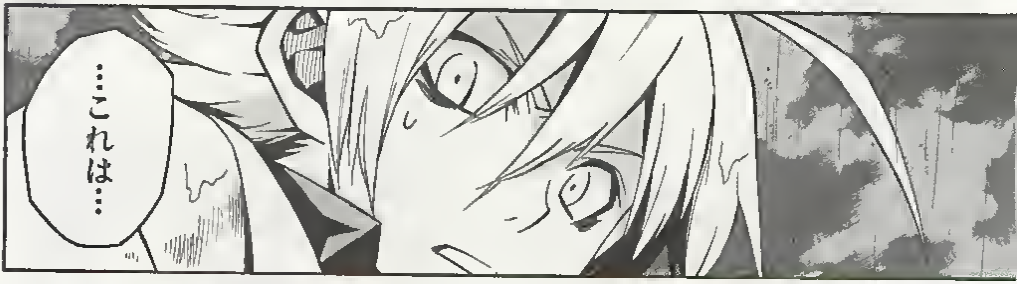
奥の手
鬼人招来

ミシッ
メキメキ

！
演奏で自分だけを強化してやがる…あいつの切り札か！

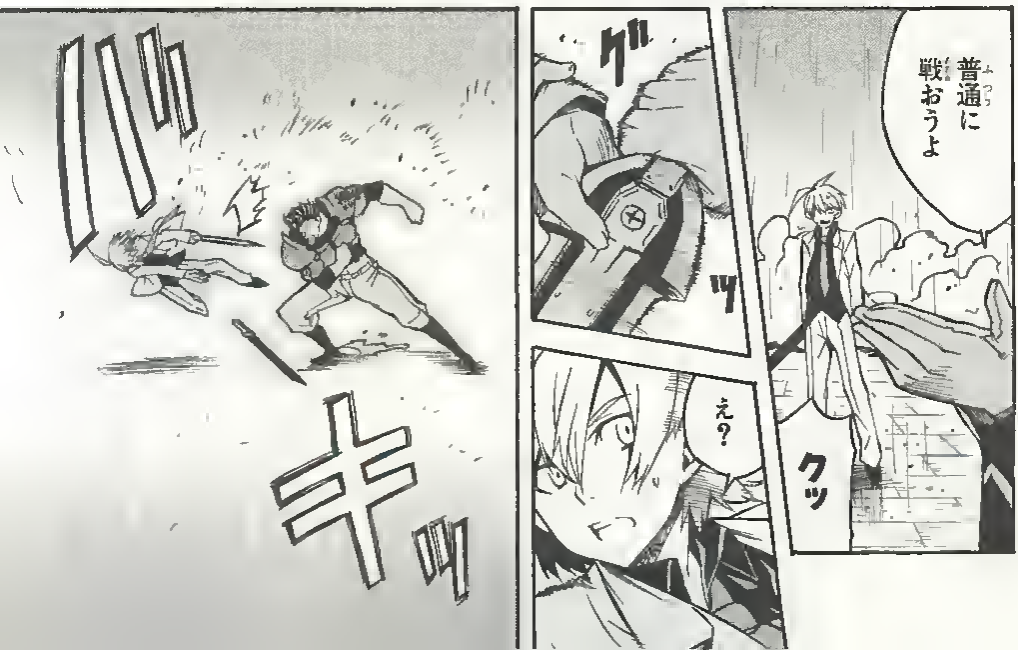
エスデス様の為に…
何がなんでも任務を果たす
ふうううう
久し振りだなあこの姿になるのは…
まずい…
さっきでさえ押し負けたのに
俺一人でどうすれば…


タツミ
お前に託す


…これは…

持ち主の所に鎧は来る
インクルシオの鎧だ
ゼェ
ゼェ

お…俺が
兄貴の帝具を!?
はは
無理だよ
無理無理！
やめときなって
戦う前に
死んじゃうよ
インクルシオは
負担大きすぎて
凡人がつけたら
即死する位の
帝具なんでしょ？


普通に
戦おうよ
クッ
え？
グ
ッ
キ
ッ

相手のペースに飲まれてんじゃねえよバカ野郎!!
お前の素養と今までの経験値…
ゼェ
ゼェ
ゼェ
それをつける資格は十分にあるぜタツミ!
兄貴…

うーん
二人の仇
なんだから
切り刻みたいのに
即死されたら
つまらないぞ
帝具には
相性も
あるんだって
合わないと
即死だよ？
…帝具との相性は
外見や第一印象を
気に入るかどうか
で…
だいたい
判断出来る
お前なら
やれる…！
行け！
タツミ
…兄貴…
へへっ…
尊敬してる人が
ここまで言って
くれたんだ…

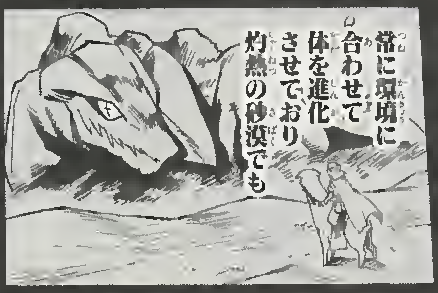
ギュッ
ギ
期待に応えなきゃ…
男じゃねえ!!

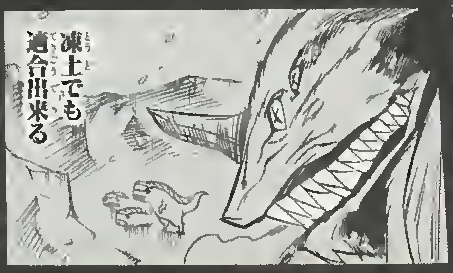
あーもう
結局つける気？
…それなら
即死する前に行っちゃえ!!!
叫べタツミ！ 熱い魂で!!!
おおおおおおお
キィィィィ

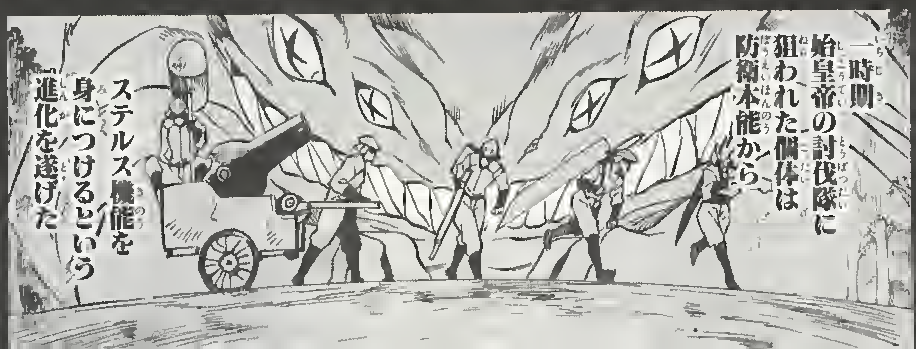
ギオオオ

イッカルシオは
タイラントという
ケタ違いの生命力を
持つ竜型危険種の
素材を使用している

この竜は獲物を
見つけるために
常に徘徊しており
生物と出くわせば
根こそぎ喰らってゆく
災厄の化身と
恐れられていた


常に環境に
合わせて
体を進化
させており
灼熱の砂漠でも


凍土でも
適合出来る


一時期
始皇帝の討伐隊に
狙われた個体は
防衛本能から
ステルス機能を
身につけるという
進化を遂げた

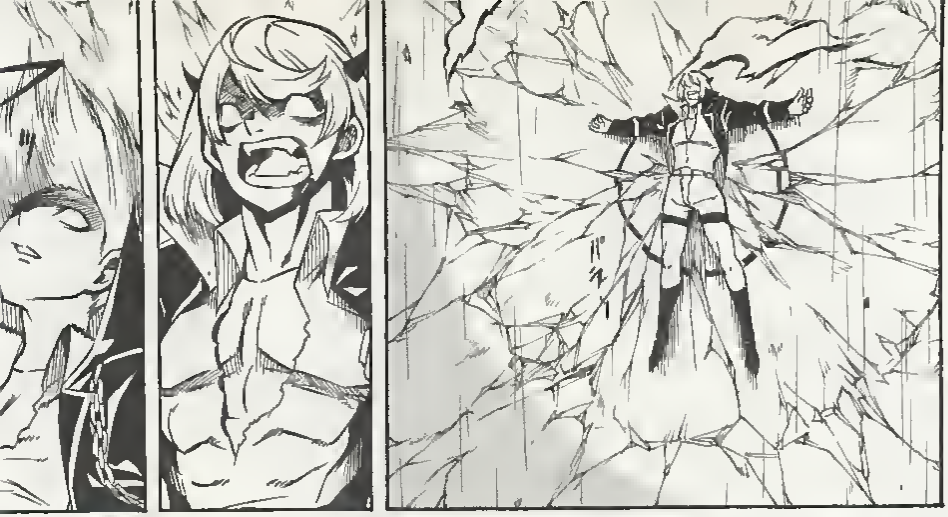
討伐されて
帝具の素材に
なった今でも
竜の筋肉はまだ
「生きて」おり
敵を倒すべく
進化を
続けている
な…
なんて帝具だ…
タツミ…
そうか…
お前の……
思いが…

インクルシオを進化させているのか!!!!
ナイトレイドの名を騙り暗殺を繰り返したエスデス軍…!

報いを受ける
時間だぜ!!

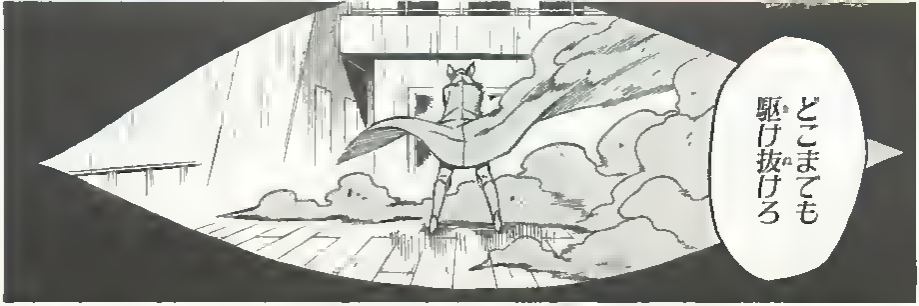
いきなり凄い調子に乗ってるね…！
……
分かるんだ
鎧が
強制的に俺の力を上げているのが
お前は
俺が倒す

やってみろおおお
おおおおおおおお

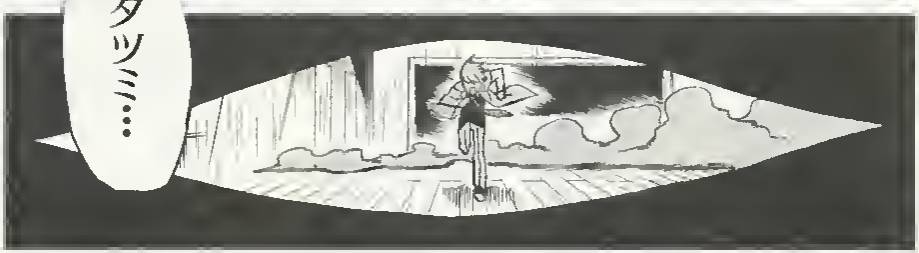

バキィ

ドガ

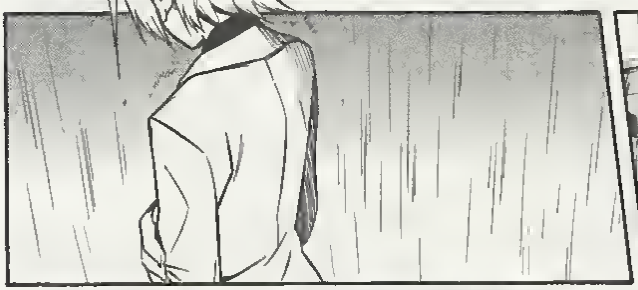
…ハハッ
…凄え
今それだけの力があれば
いずれ確実に俺を超えるな

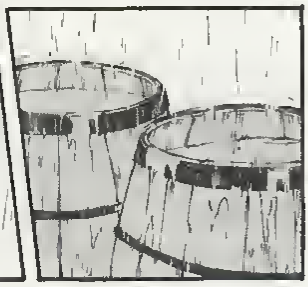

どこまでも
駆け抜けろ

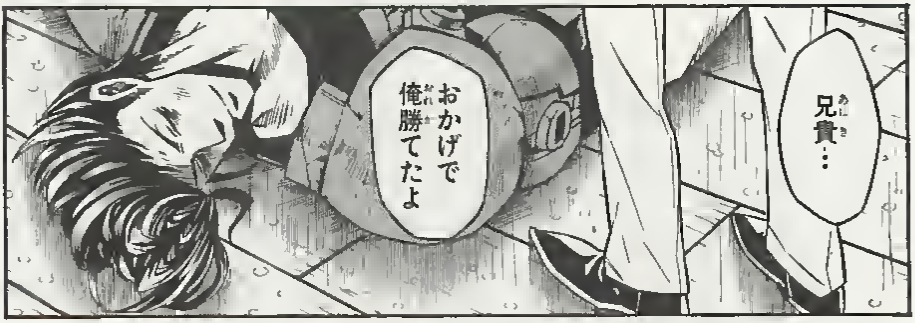
見守ってる
からよ…


タツミ…

ギアアアアアアアアアア

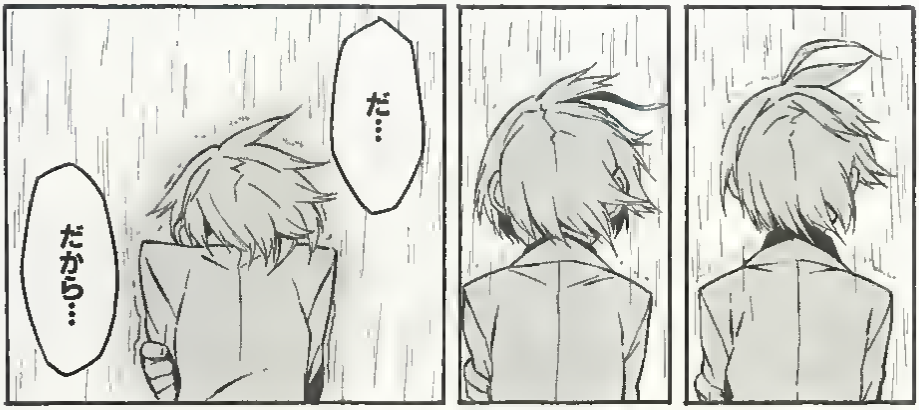





兄貴…
おかげで俺勝てたよ

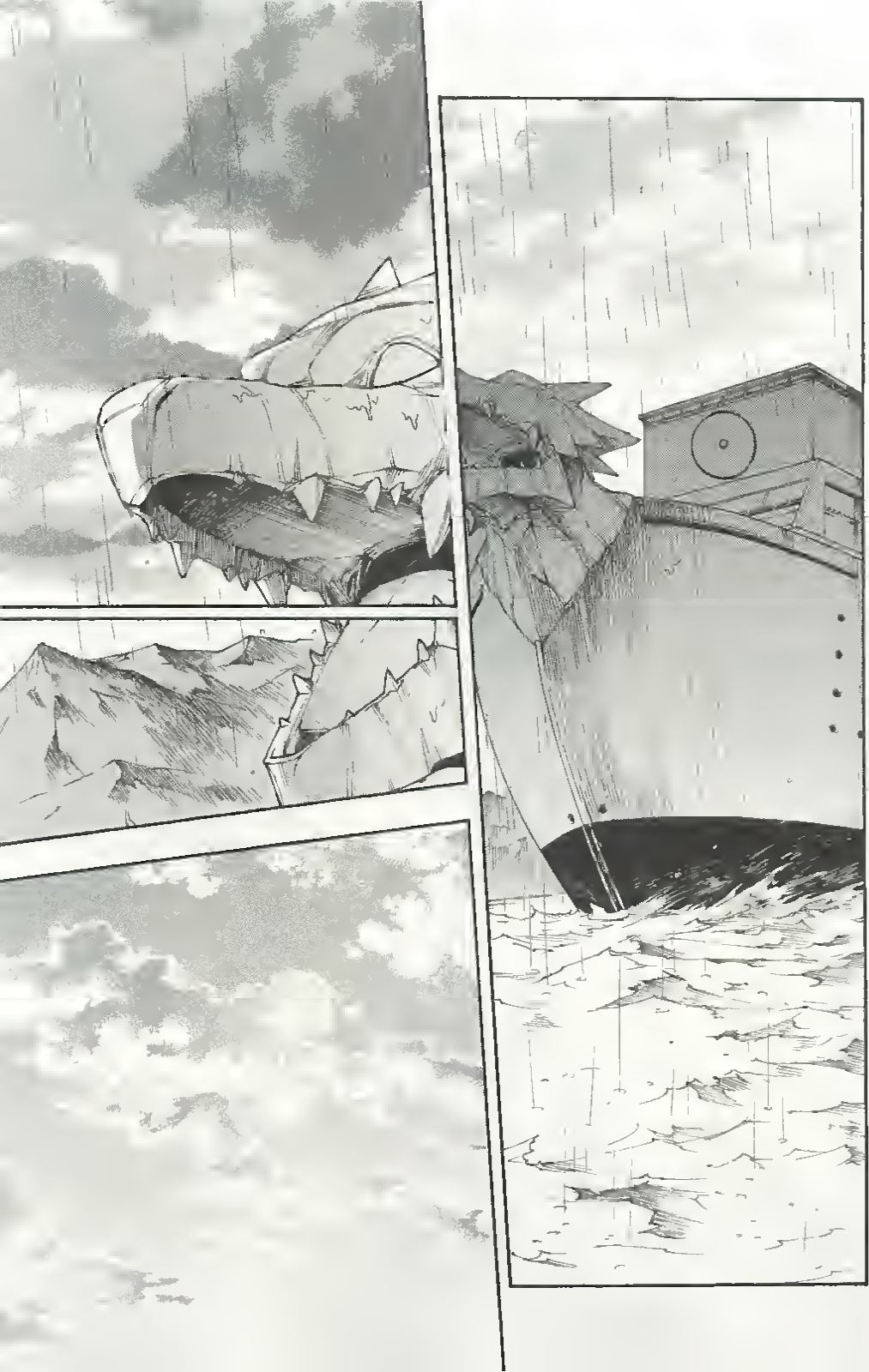
ごめんよ…
最後の最後まで殴られるような真似しちまって…

俺…強くなる
きっとインクルシオも使いこなすから…


だ…
だから…

だから…！
今は泣いていいよな…
兄貴ィ…

うわあああああ

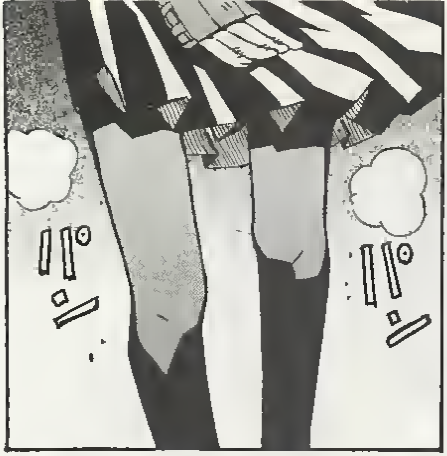


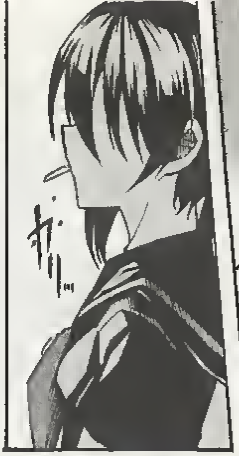
帝都辺境
テンスイ村
――同時刻
ラー♪
ララーラ♪
フシフ
フーシ♪
タタンタン
フシ
フーシ♪
ふう…
人間の体って
本当に面白い♪

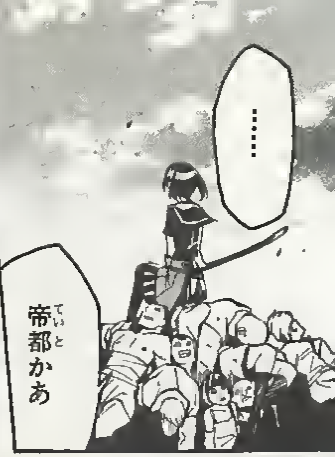
この村は異民族と交易し 利益を革命軍に渡していた
それを知った大臣は村人を惨く殺すべく刺客を送り込んだ
へへへ クロメそろそろその死体まわしてくれや
ん いいよ飽きたし

さすがはクロメ話が分かる
クロメ
帝都から召集かかってきたぞ
ガサッ
クロメのおかし

ん？
私だけ？
ああ…なんでも
「6人」のうちの一人に選ばれたとか







アカメが斬る!3 おわり

TAKAHIRO's POSTSCRIPT

こんにちは。
原作担当、みなとそふとのタカヒロです。
今回は三獣士について、もう少し詳しく触れます。

[ダイダラ]

最強の称号を目指して
武者修行の旅をしていたところエステスと出会い、
一騎討ちで打ちのめされてから、
その武勇に心酔し部下となる。
彼女に忠誠を誓っているが
最強への道はまだ諦めていなかった。
兄貴に瞬殺されたとはいえ、
あれは単に兄貴があまりに強すぎただけで、
この人も充分すぎるほど強いです。

[ニャウ]

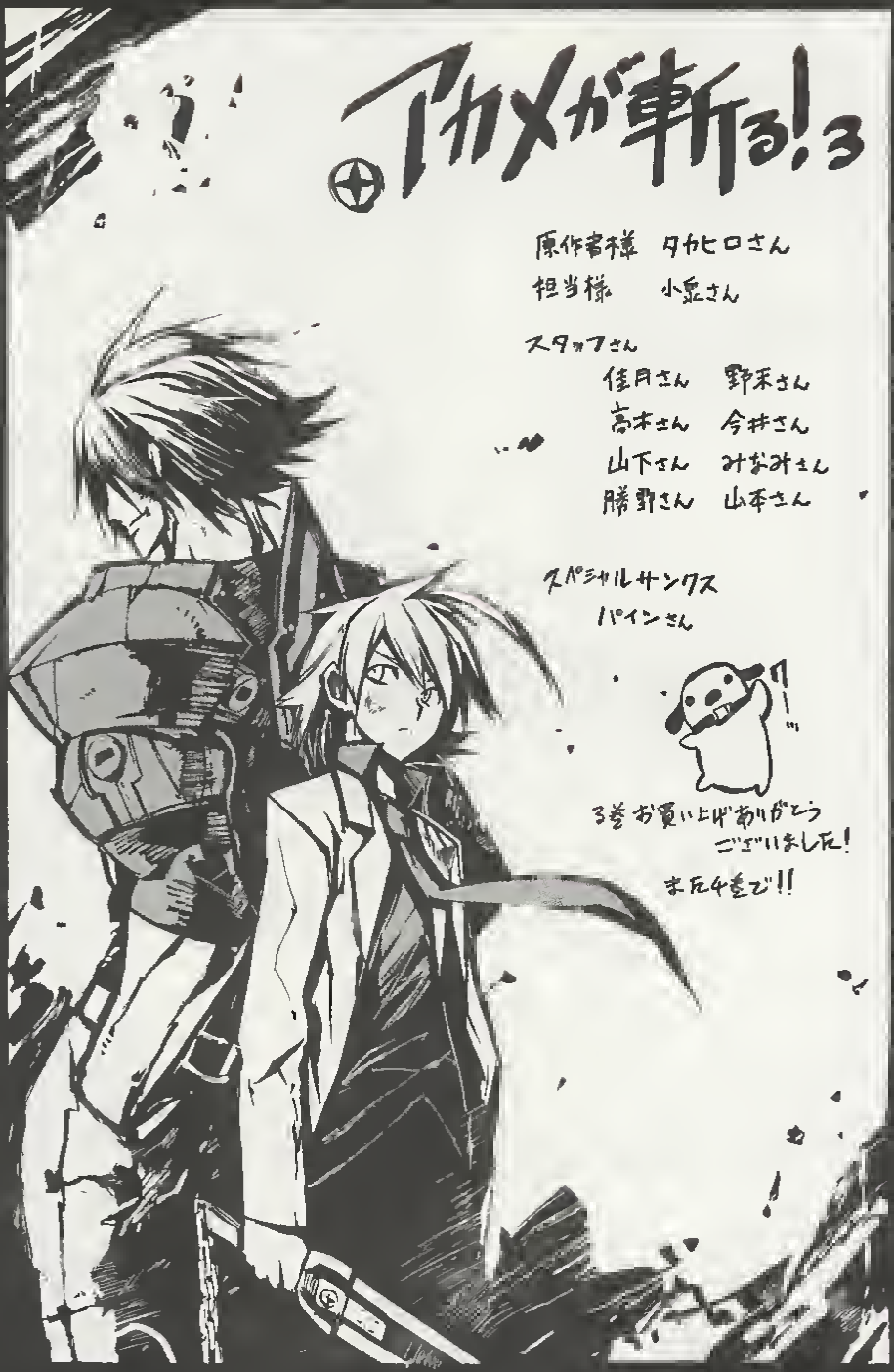
名門貴族の生まれ。才能の塊ではあったが家庭環境が
歪んでおり、元々酷薄な性格だったのが余計に酷くなった。
小動物の解体などが趣味で、自分がこの世で一番エスだと思っていたが
エステスの存在を知り、自分の未熟さを恥じてエステスの部下へ。
戦利品として美人の皮を集めるなど、
三獣士の中で一番常軌を逸している危険人物。

[リヴァ]

智勇兼備の将として帝国で活躍していたが、この巻で語られた通り
紆余曲折を経てエステスの部下になる。
有能な軍人としてエステスからも重宝されており
本人はそれを何より至福に思う。
実際にエステス軍が最強の精鋭として機能していたのは彼の補佐が大きい。
ニャウやダイダラから好かれている三獣士のリーダー。

以上、キャラクターのバックボーンでした。
本編では全て拾わなかったので、ここで紹介しました。
それではまた4巻でお会いしましょう。ではでは。

タカヒロ



原作者様　タカヒロさん

担当様　小原さん

スタッフさん

佳月さん　野末さん

高木さん　今井さん

山下さん　みなみさん

勝野さん　山本さん

スペシャルサンクス

パインさん

3巻お買い上げありがとうございました!

また4巻で!!

アカメが斬る！ Akame ga KILL! 第④巻2011年秋発売!!
「アカメが斬る！」は、ガンガンJOKERにて好評連載中!!（毎月22日発売）

ガンガンコミックスJOKER

GC JOKER

アカメが斬る!

3

2011年5月21日　初版発行

原作
タカヒロ
作画
田代哲也

© 2011 Takahiro
© 2011 Tetsuya Tashiro

発行人
田口浩司

発行所
株式会社スクウェア・エニックス
〒151-8544　東京都渋谷区代々木3-22-7　新宿文化クイントビル3階
【編集】TEL.03-5333-1560
【営業】TEL.03-5333-0832　FAX 03-5352-6464

印刷所
株式会社廣済堂

装幀
虻川貴子

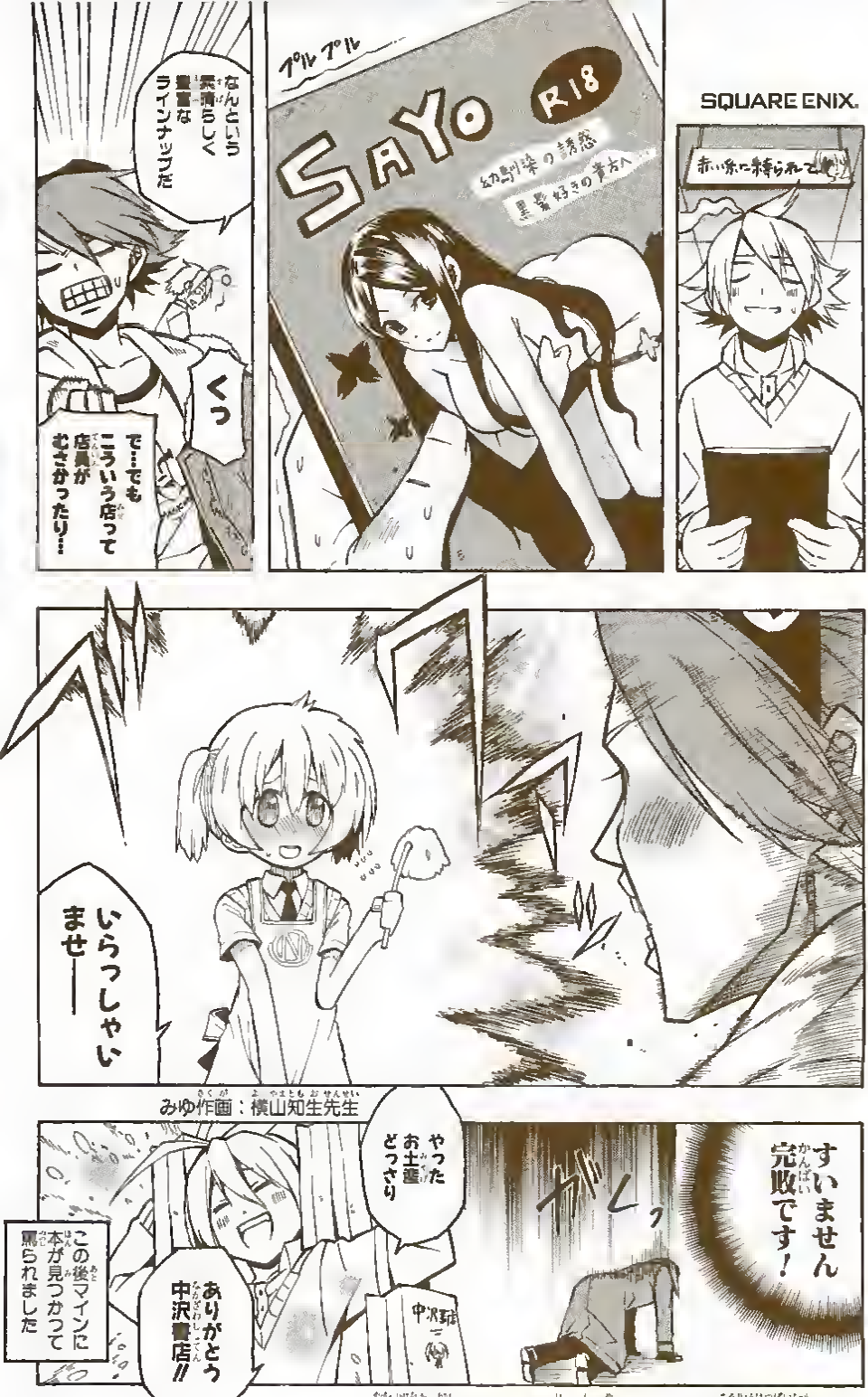
初出／月刊ガンガンJOKER
2011年1月号～5月号掲載

この作品はフィクションです。
実在の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

無断転載・上演・上映・放送を禁じます。乱丁・落丁本はお取り替え致します。大変お手数ですが、購入された書店名と不具合箇所を明記して小社出版業務部宛にお送り下さい。送料は小社負担でお取り替え致します。但し、古書店でご購入されたものについてはお取り替えに応じかねます。定価は表紙カバーに表示してあります。

ISBN978-4-7575-3235-0 C9979

Printed in Japan



みゆ作画：横山知生先生

GCJ「私のおウチはHON屋さん」①～③好評発売中です!!

9784757532380

ISBN978-4-7575-3238-0

C9979 ¥571E

1929979005719

雑誌48124-07
定価：本体571円＋税

SQUARE ENIX.

シェーレを喪い、殺し屋の無情な運命を思い知ったタツミ。
それでも立ち上がったタツミの前に、新たな帝具使い・三獣士が襲いかかる!!
どちらかが必ず死ぬ帝具バトル[illegible]のは果たして誰か!?
「つよきす」「真剣で私に恋しなさい!」のタカヒロが放つ、
容赦なきダークファンタジー第3巻!!

AKAME GA KILL! 3

TAKAHIRO×TASHIRO TETSUYA